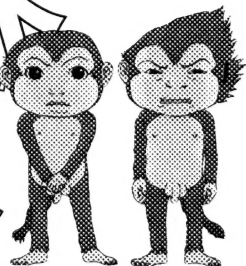
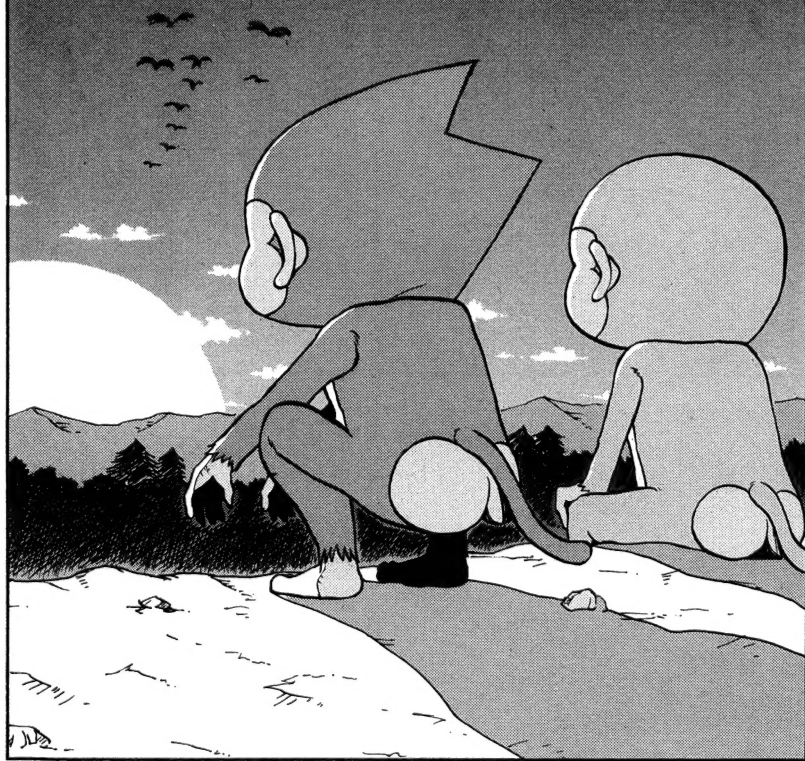
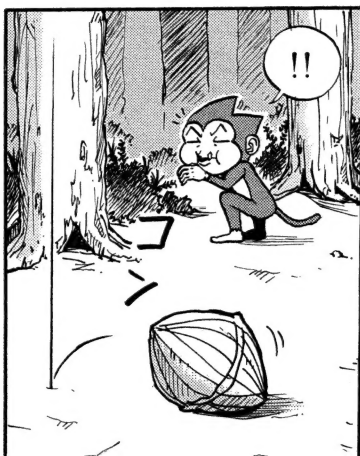
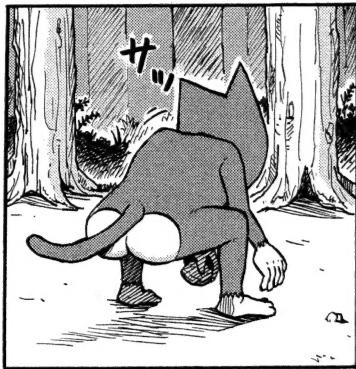
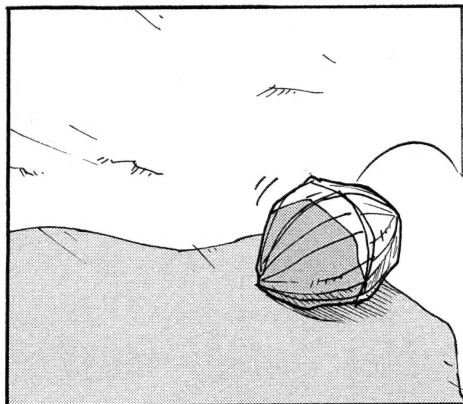
鈴木マサカズ
Masakazu Suzuki
BEAM COMIX

BEAM COMIX
サルぽんち
鈴木マサカズ
Masakazu Suzuki
entirbrain

サルぽんち

サルぽんち もくじ

【第一話】

僕とモンタくんは
A県の山奥で
暮らすオスザルだ
コン

サッ

ひょこ
ひょこ
………
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ

僕達は 主に
木の実などを
食べながら
暮している
ブチッ
ポイッ

!!
コン

サッ
コン
コン
………
カリカリカリ
カリ
ひょコン
ひょコン
ブチッ
ん？
ポイッ
………
カリ
カリ
カリカリ
カリカリ
カリ
コン
モンタくん!!
ビクッ
片っぱしから食べちゃあダメじゃないきゃ――ッ!!
スルスル
ダッ

だから 何も
そんなイキオイで
食べなくてもさ
木の実は
いっぱい
みつけたん
だし…
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
………
ポリッ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
あまあるひ
のみもあみた
あるとまかみ
らにゃい
モグ
モグ
クチャ
クチャ
え!?
何を言ってる
のか 全然
分かんないって
少しは
落ち着いて
さあ…
ウキ?

ムキーーーッ!!
ああ!!
ドキッ

だっ かっ らっ
ドンドンドン
プルプル

言ったじゃないきゃーッ!!
コスコスコス
プルプル

にゅる

えッ!?
ウキ?
プラーン
ガサッ

!!
ウキ?

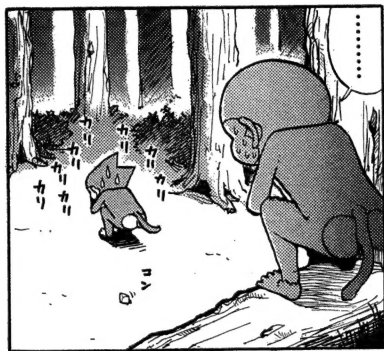
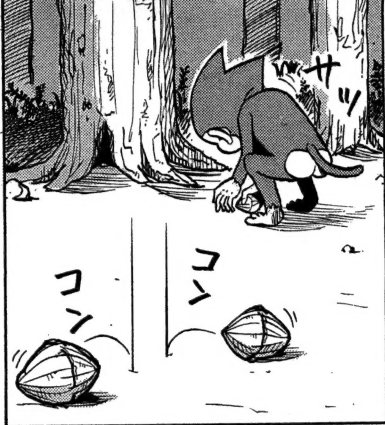
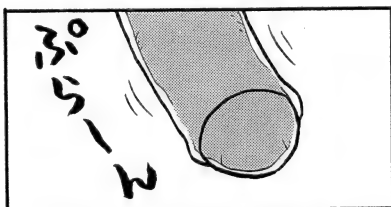
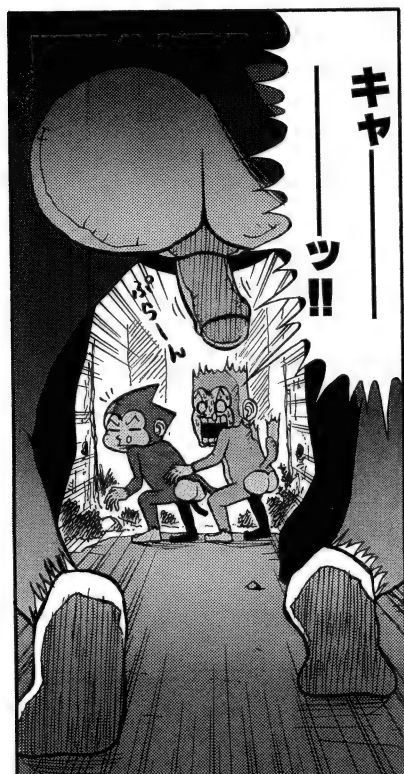
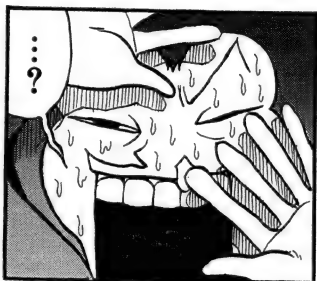
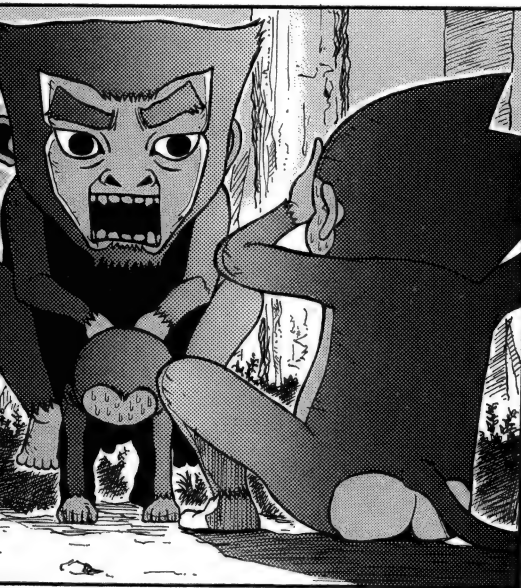
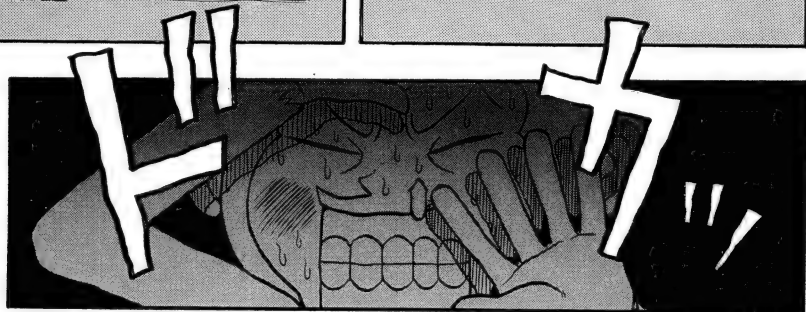
ボ…ボス!!

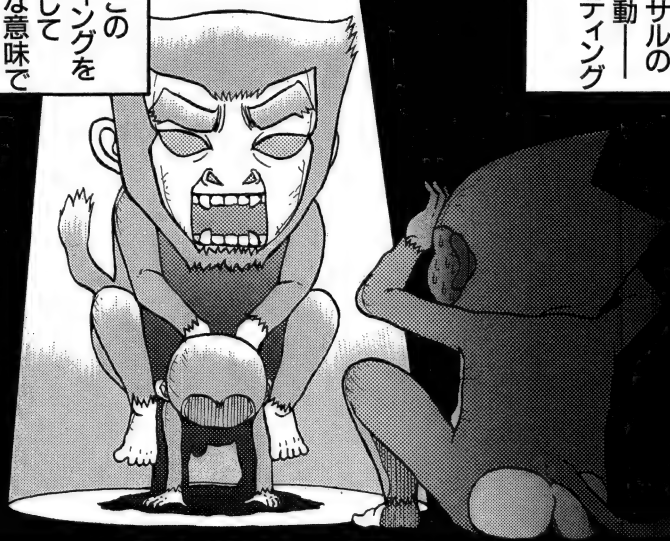
え?

キャ

じょ~

グイッ

ドカッ!!

順位の高いサルが
順位の低いサルの
腰に乗る行動――
通称マウンティング

サル達はこの
マウンティングを
状況に応じて
さまざまな意味で
用いている

今回の場合は
明らかに

おまえら
オレのエサ場で
何やってんの？

ガブられ
たい訳!?
喰っちゃうよ
マジで!?

――という
マウンティング
である

ケンジッ!!

……
プル
プル

この
イカレポンチ
がッ!!

?

次はおまえ
だよ～～～

ハ～～イ♡
サッ

プチッ
……え?
え!?
イヤー
!?
!!

ぐぎぎぎぎ

モ…
モンタくん!!

むむむむむ

ムキーーーッ!!

ベチャ
モグ
モグ
クチャ
クチャ
クチャ
カリ
カリ
カリ
カリ
……
ひょこ
ひょこ
モグモグ
クチャクチャ
カリ
カリカリ

どうせ全部
自分のモノに
なるんだ
何もそんな
イキオイで
食べなくても
いいじゃないか

モグ
モグ
ハフ
ハフ
クチャクチャ
カリカリカリ
カリ

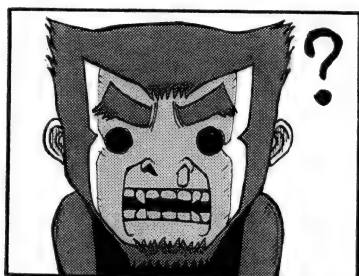
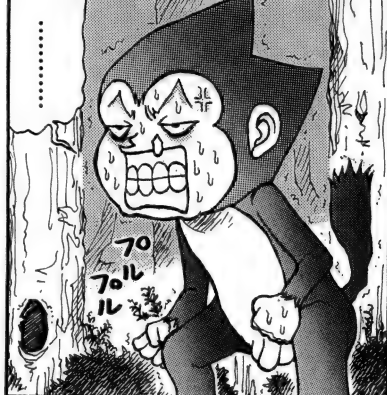
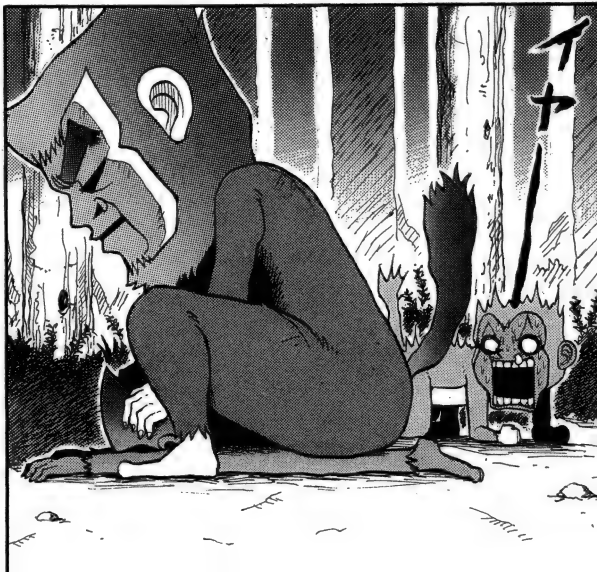
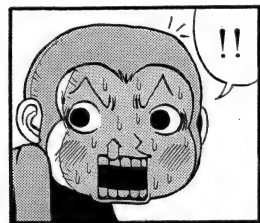
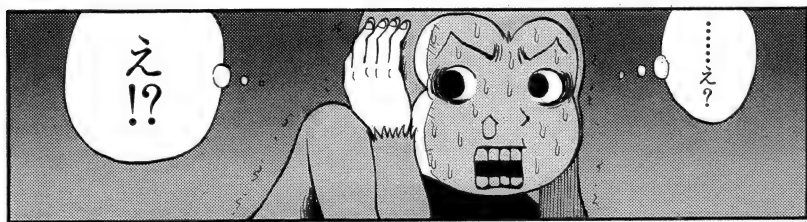
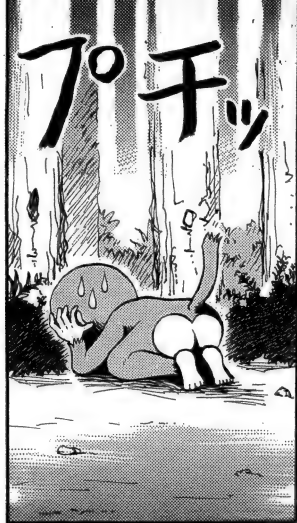
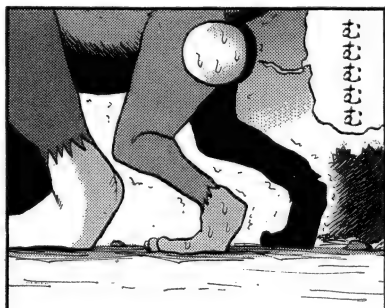
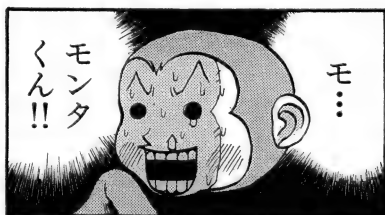
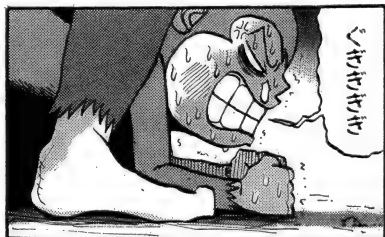
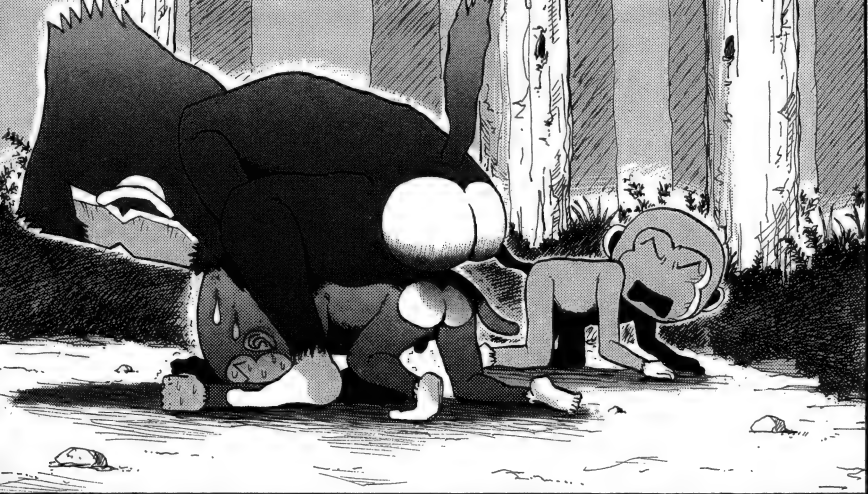
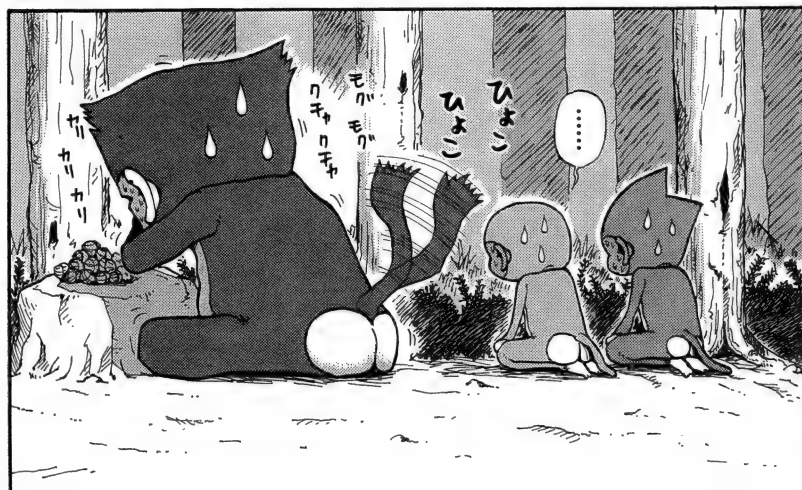
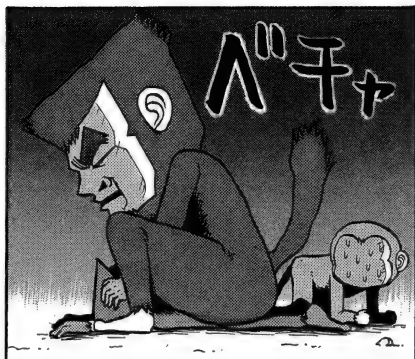
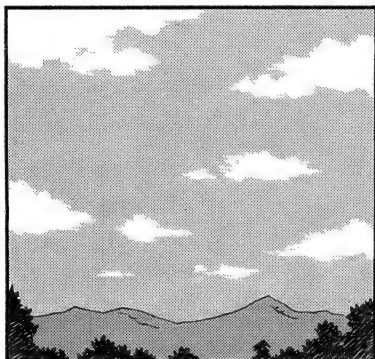
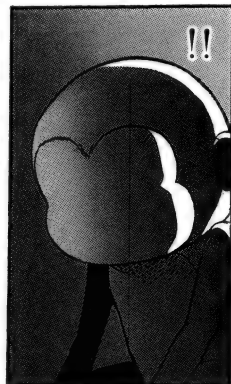
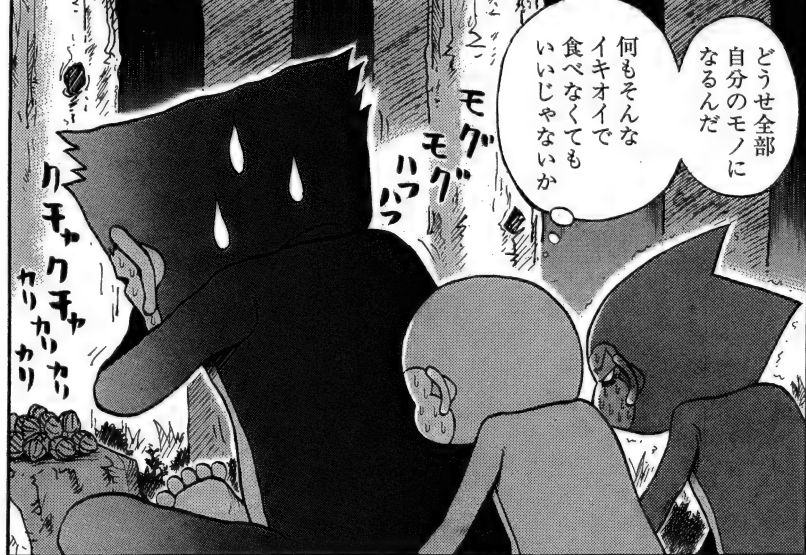
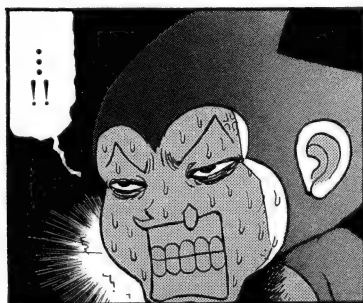
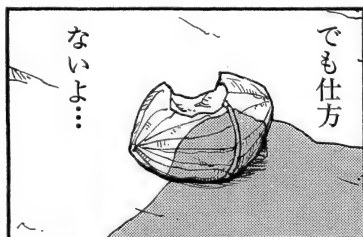
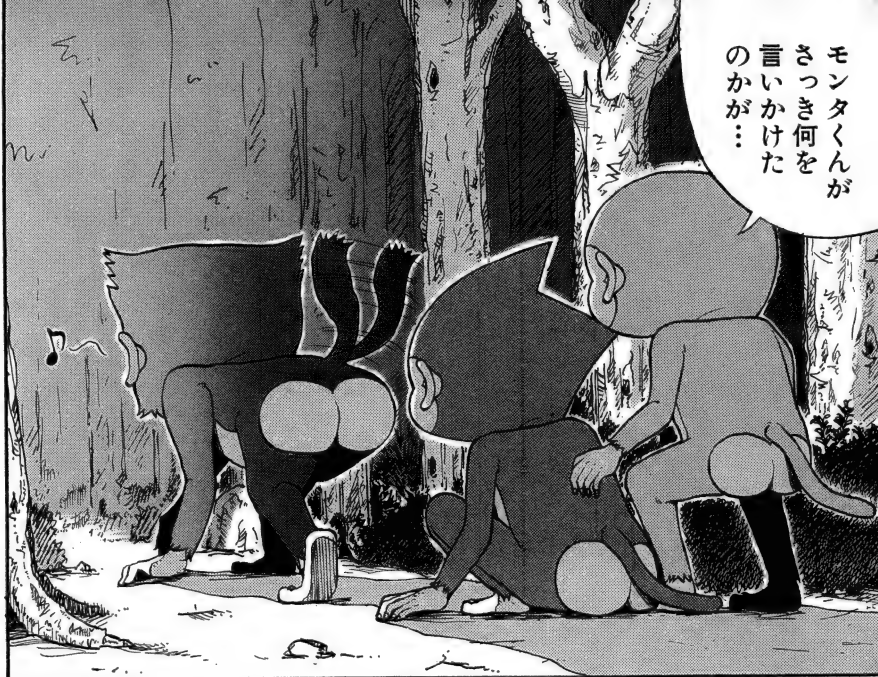
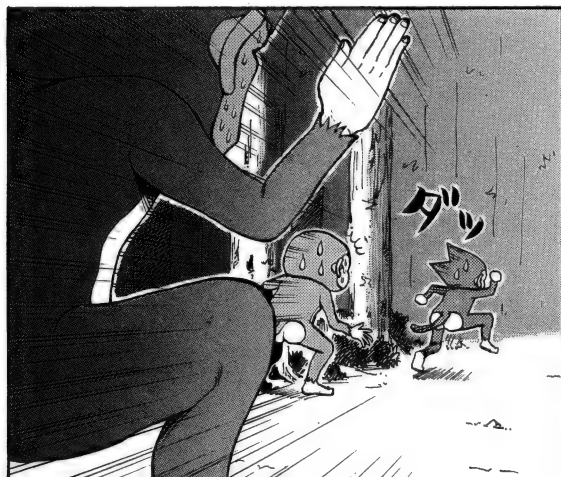
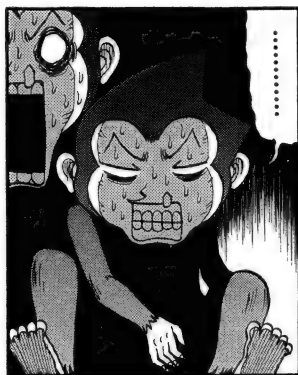
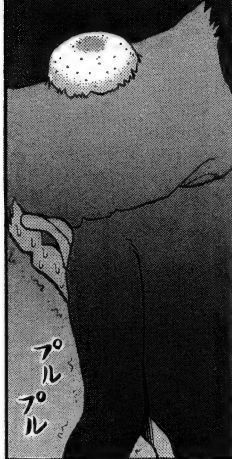
モンタくんがさっき何を言いかけたのかが…

ええ!?
ビュ〜ン
ドゴッ
プルプル
……………
ダッ

…ケンジィ
カー
カー
オレいつか
ボスになるわ

え!?
そして
おまえを
ナンバー2に
してやろう

そうなったら
それはそれで
うれしいけど…
それよりも
耳……

こんなモンは
一晩眠りゃあ
治るだろォ
…治ら
ねーの?
ぽっくり
ムリなの!?
………

【第二話】

僕とモンタくんは今年で1歳になるオスザルだ
僕達が暮らす山は毎日が新しい発見で満ちている

………
………

どうしてアリは自分より大きなモノを運べるのかな——？

すごいなー
ひょこひょこ

あれ？
モンタくん？

ハイ！ハイ!!
どいて！どいて!!
ダダダダダダ

からっぽ
↓

ムキッ!?
ビクッ
ど…どーしたの？

あっ!!
ダッ
ムキーッ!!

チャポン

おーい
モンタ
くーーん

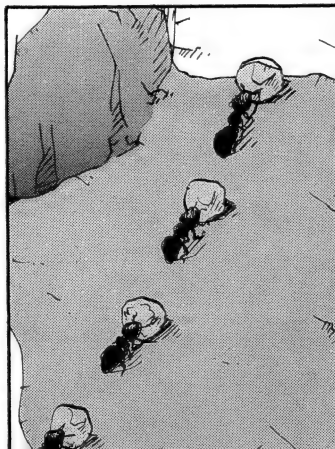
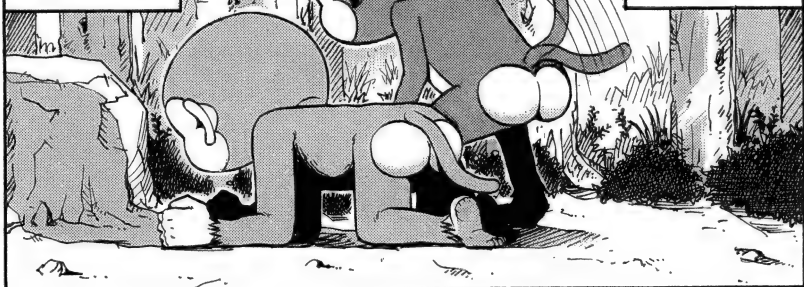
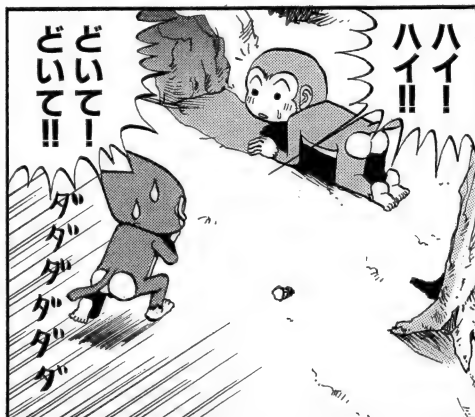
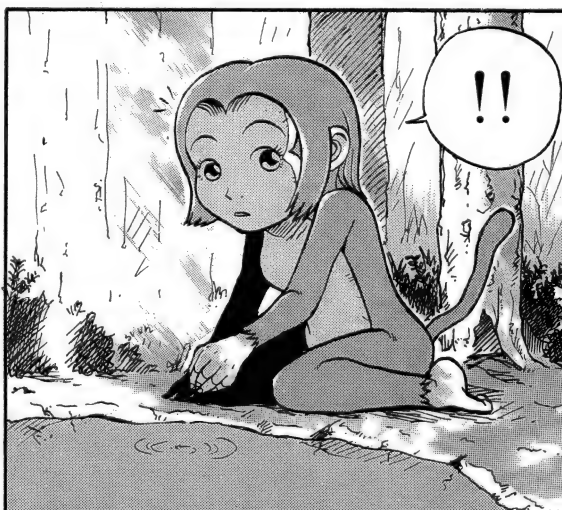
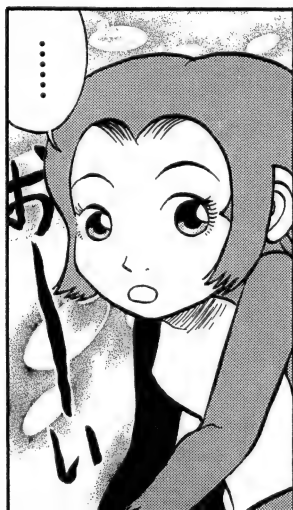
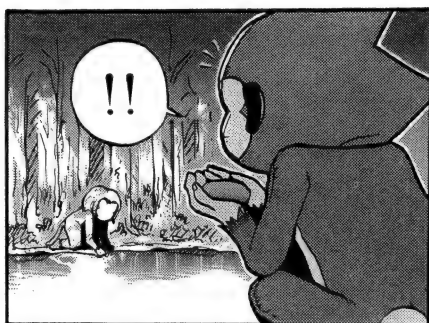
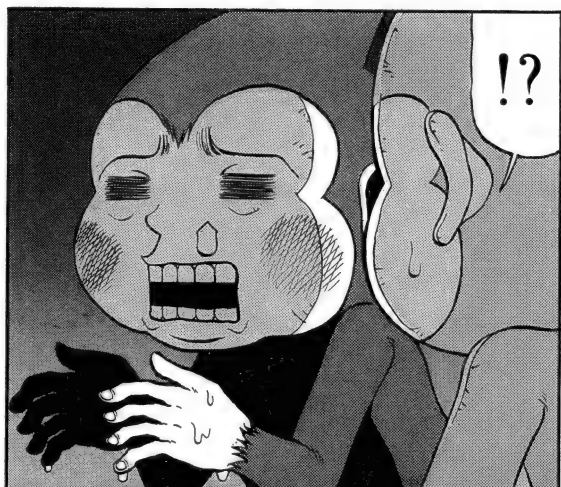
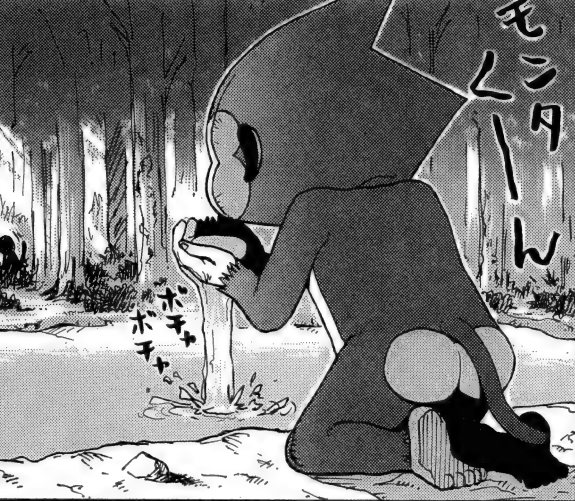
モンタくーーん
ボチャ
ボチャ

モ・・・

アリを
水責めにする
つもりだった
んだ・・・
・・・・・・・・
ポタ
ポタ

!?

モ・・・
モンタ
くん!?
ササッ

次の日
どーしたのソレ!?

ホッペタが真っ赤っ赤じゃん!!
朝起きたらなってた…

朝起きたらって1日でそんな…
なってたモンはなってたんだよ

とにかく ただ事じゃないから長老に…
!!
ゴチャゴチャうるせーよ

ああ!!

お尻も真っ赤っ赤…
けっ…ケツまでも!?

長老に相談した方がいいよ
…………

実はそれだけじゃねーんだよ…
え!?

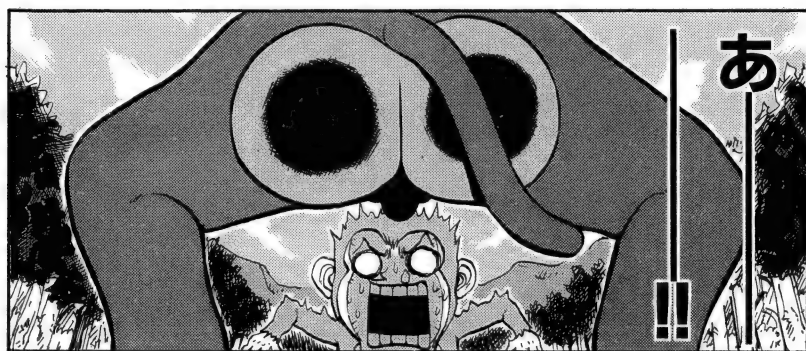
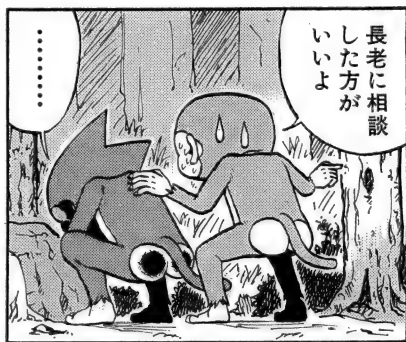
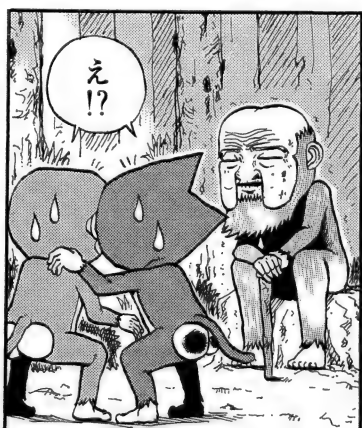
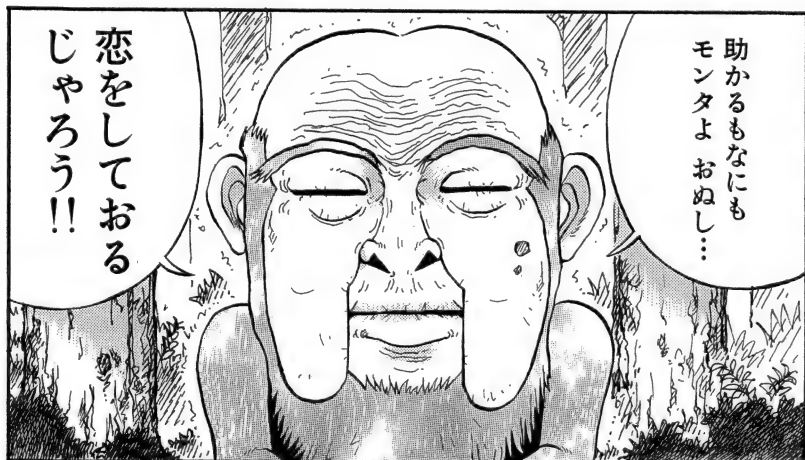
あーー!!

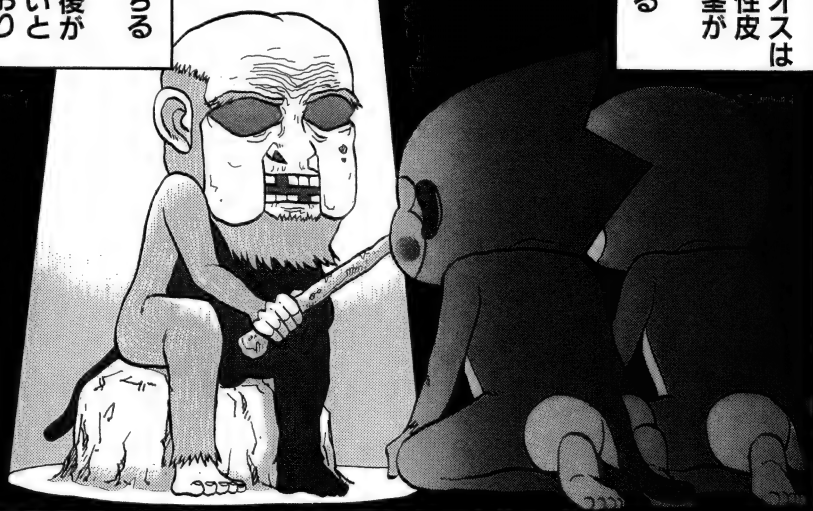
長老に相談しよう!!
いやーやめてはなしてー
ズズズ

こりゃあまた真っ赤っ赤にしてから…
助かりますか!?

助かるもなにもモンタよ　おぬし…
恋をしておるじゃろう!!

え!?

モンタくんが恋を!?
それが動かぬ証拠じゃッ!!
ビシッ

恋をしたオスは
顔や尻の性皮
そして陰茎が
赤く
膨れあがる

恋に落ちる
年齢は
5歳前後が
最も多いと
されており

モンタの場合
まだ満1歳にも
なっていないので

かなり早熟な
サルであると
言えるだろう

…とにかく
コッ
今のおぬしでは メスが逃げるのも 当然の成り行きじゃ
メスと恋に 落ちたければ なるべく紳士的に
プルプル

かつ大胆に 身振り手振りで コミュニケーションを取りながら
ふむふむ
メスの緊張が 和らいだ所を

背後から ガバッ!!
ガバッ
…と
成る程!!
うんうん
ドキッ

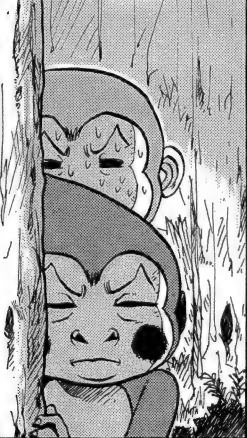
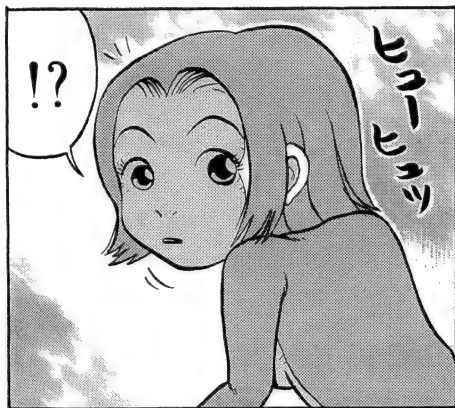
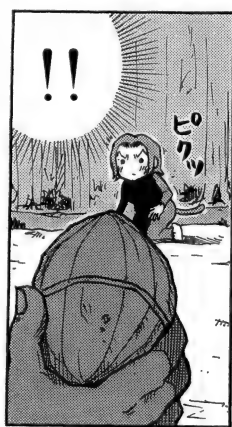
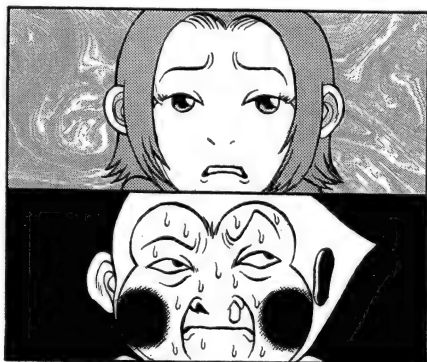
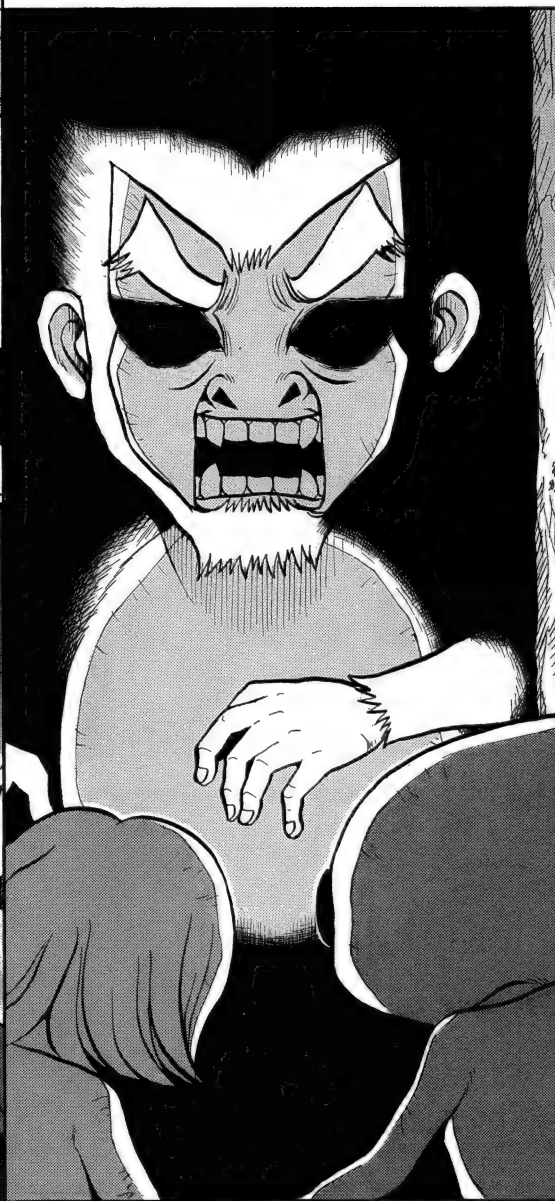
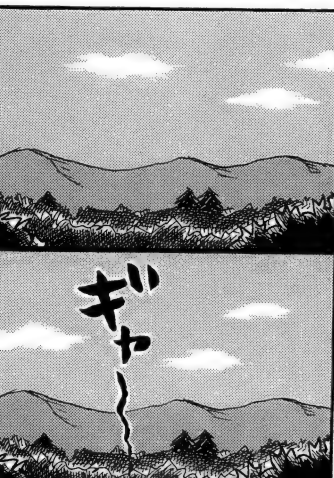
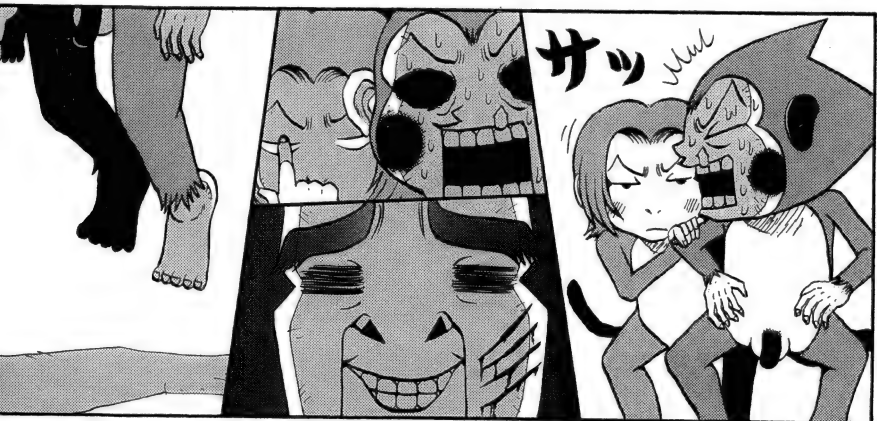
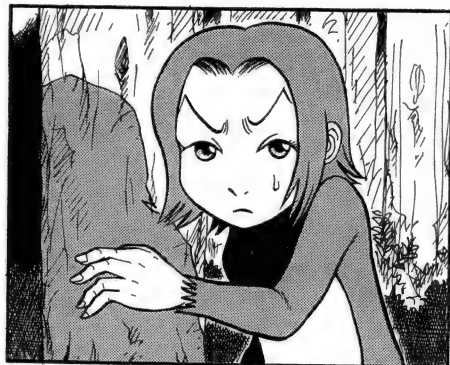
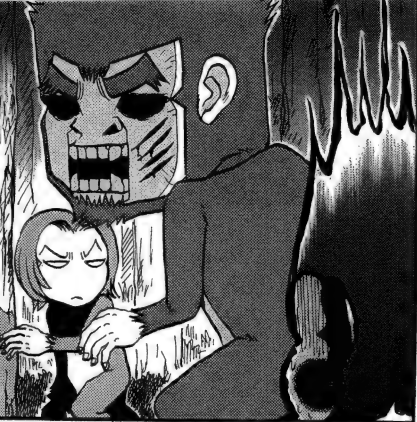
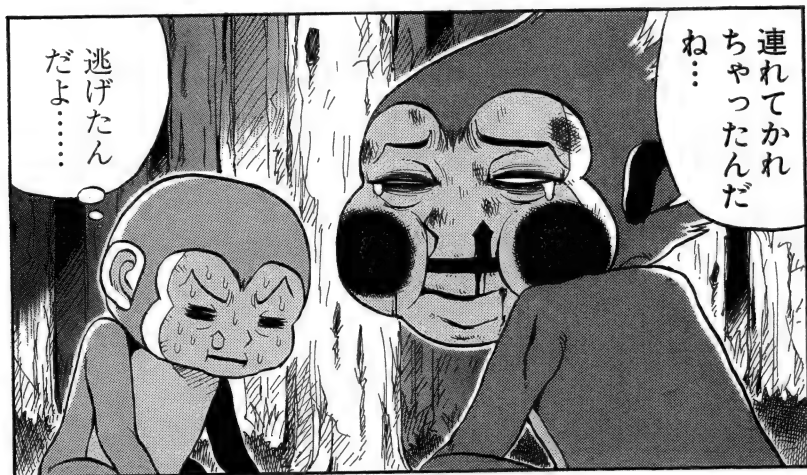
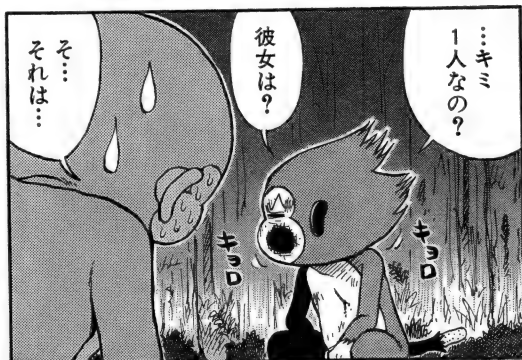
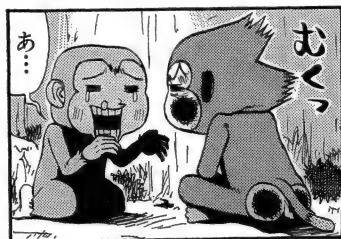
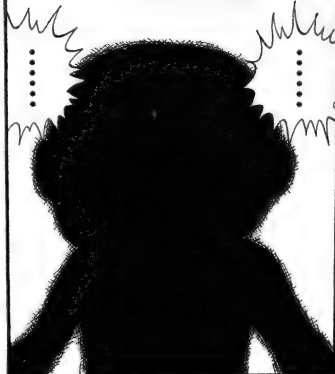
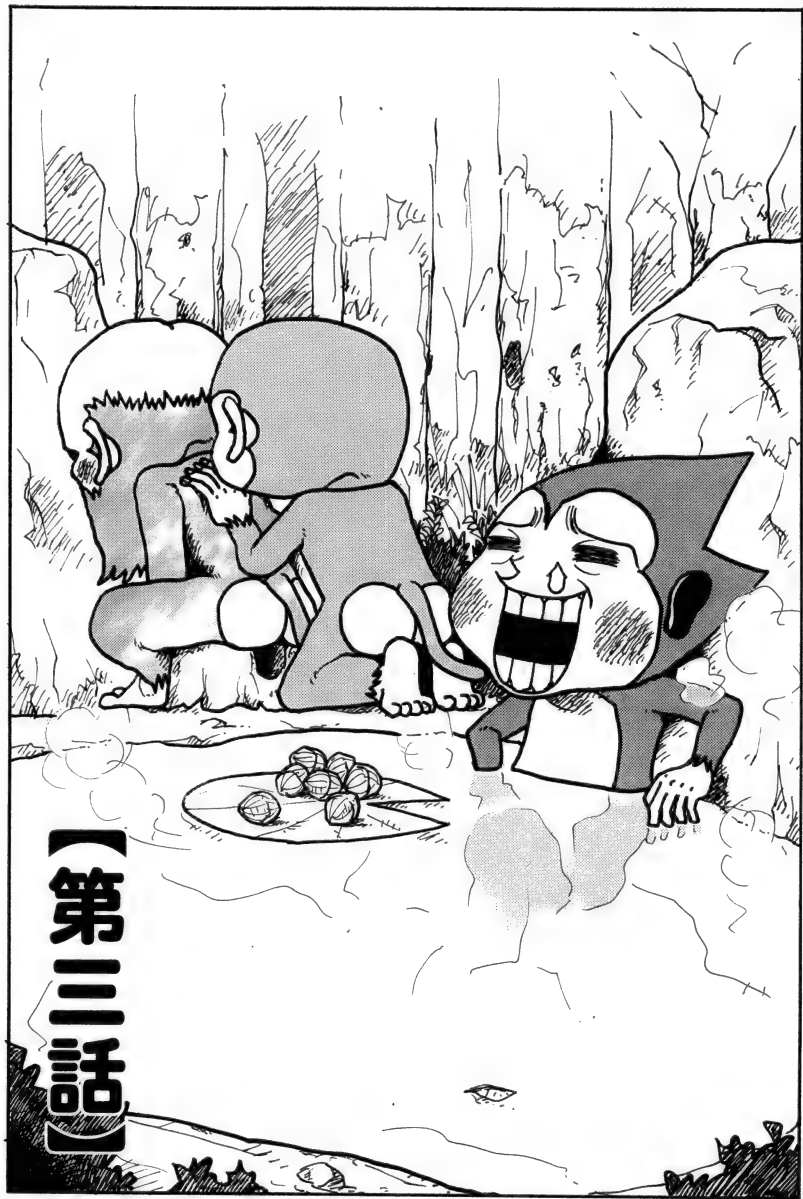
オッケー長老!! 身振り手振りで 背後からガバッ だなッ!?
…
イエーイ
キバれよ モンタ!!
プルプル

昨日はこの湖にいたんだよ…
ひょこ
!!
ひょこひょこ
いたよ！いたいた!!向こう岸か!!
ダッ
か…可愛い…

ヒューヒュッ
!?
パシャパシャ
ハ〜イ♡
ひょこ
100億のスマイル→
サッ
え!?
ガッ
とにかくメスザルは警戒心が強い
身振り手振りを繰り返し緊張を和らげるのじゃ!!
じり
じり

アイアーーム
ノー
デンジャラス♡
木の実も
あるよ♡
!!
ピクッ
これかッ!!
やっぱり
これかッ!!
……
じり
じり
ひょこ
ひょこ
木の実
恐るべし!!
ふら
ふら
ガサッ

サッ
ギャー
…………
いや…
だから…
ってゆーか
あの…
さささっ
ぷらーん

……
……
……
……
……
カーカー
むくっ
あ…
…キミ 1人なの？
彼女は？
キョロ
キョロ
そ…
それは…
カーカー
連れてかれちゃったんだね…
逃げたんだよ……

【第三話】

朝起きると
何もかもが
シ・ロ・イに
なっていた
僕も
モ・ン・タくん
もシロイを
見るのは
初めてだ……

チュン
チュン
寝起き
ボーッ
……

!!

サクッ

…?
サクッ

ドサッ
ムキッ!!
ビクッ

?

お〜い モンタ〜ん
そ〜〜っ
ひょこ ひょこ

………
ドサッ
? ? ?
ドキドキ

キャー

イヤーー

シャーーッ

シャッ

ボスッ

モンタくん大丈夫？
プル
プル
……

超最高じゃん…
ジーン

・・・シロイ最高ッ!!
・・・シロイ超楽しいッ!!
……

イエ〜〜イ
シャッ

イエ〜〜イ
シャッ

イエ〜〜イ
シャッ

ガタ
ガタ
ガタ
ガタ

超寒いよォ〜
ガタガタガタガタ
ヒョオオオォ
え!?

モンタくん
くちびる
まっさお…
温泉行こ〜

温泉って…
ここから
かなりある
よ……?
日も暮れ
かけてきてる
し……
大体
歩けるの!?

だめみたい
……
こごえちゃう
だめみたい
って……
ヒョオオォ

なあ
ケンちゃん…
うん？
ぜえ ぜえ
オレがボスに
なった暁には
さ……
おまえを
あの森のあの山の
向こうまで
連れてってやるよ
…なんで？
え!?
なんと
なく……
…少し
眠れば？
ひょこ
ひょこ

ホーホー
ぜえぜえ
さ…さあ着いたよモンタくん…
キャー
ぜえぜえ
?
バシャバシャ
温泉で泳ぐのはやめよーよ…
バシャバシャ
イエ～
すい～っ

!?

………
すい～

………
………

キャ～

騒ぐな

え!?

……
はぁ〜〜〜
キモチE〜
ぷぃ〜〜
温泉
サイコ〜〜♡
そろそろ帰ろうか?
え!? 泊まりじゃねーの!?
だって…
チラッ
だーーーいじょうぶだって!!
温泉に上下関係はないって言ってんだからさ〜〜〜
それよか体の疲れを解消しよーぜ オレは疲れてるんだよ…
みんなバカばっかでさ…
みんなって誰だろ?
ぶくぶく

ウィ～～～～♡
モ…モンタくん～～～ん
そわそわ
プカ
プカ

ハメはずしすぎだよォ
あんな事言っていつ怒り出すか……

こころ…
ビクッ
ごく
ごく

な…なんでしょう？
な～～～に～～～？
おまえには弱者が何より大切にしている心が欠けている
すい～

いつ何時も強者を警戒し持ち上げていかなる意志や命令にも命懸けで従う心……
服従心という心が…
？

おまえは
オレの右腕
になれ

お断りします

じゃあ
次会った時は
右耳をかじる

ホーホー
…………
チラチラ

さっきから一言も喋らない…
気のせいかもしれないけど……
モンタくんが一回り大きくなったような…
しーん
ホーホー

失敗したな〜〜ケンジなんてほっといてOKすれば良かったな〜〜今からでも間に合うかな〜いや逆にそれは…でもしかし
うーーん
一体何を考えてるんだろう？
大人だなーー

やっぱりオーラが違うよ…
明日からどーしよーかな〜〜
オーラ

【第四話】

今日は冬なのに
珍しく
とても良い天気
なので

みんな日当りの
良い岩場で
グルーミングに
夢中になっている

お〜〜〜い
モンタ!!

聞いたぞ〜
おい〜〜〜
あーん?
何を!?
おまえボスに
ケンカ売ってる
そうじゃんか…

誰がそんな
事を…!?
みんな
言ってるぜ
言ってる
言ってる

しかし
やめた方が
いいぜ〜〜〜
やっ…
やっぱり?
当り前
じゃん…
ああ
やめた方がいい
さもないと…

さも
ないと?

さもない
と…
あいつの
様に…

ひーー
ふーー
みーーー

あ…あの猿何してるの!?
一日中アリを数えてんだよ…
ひーふー

みーが限度らしいぜぇ
アホや
て言うかなんでアリなんだよ!?
思いあたるフシがある
ピクッ

あいつ尻尾ねーしな…
ええ!?
本当だ…
ピクッ

あれでも昔は長老の右腕だったらしいぜ
そー　そー
かなりブイブイ言わせててさ…
キレモノだったとかなんとか…
まあそーゆー事だしさ
え!?
オレ達は何もしてやれないけどさ…
……モンタくん?
………
モッ!?
ドキッ
ケンジィ〜〜〜〜〜〜!!
ぎゅー
うう
モンタくん……
うわああああ

おまえが奴にケンカを売っているという噂は
プルプル
ワシが広めたのじゃ!!

ピピピピ…

なんだとコラァ!!
やめて〜
だ…だめだよ!!
ひいいいいい
冗談じゃ冗談!!ギャグギャグギャグ!!

シャレの通じん奴じゃ…
ゼスゼス
冗談になってないです…
ぐお〜〜っ!!離せケンジ!!
バタバタ

…よいかモンタ!!
ザッ

これ以上奴にケンカを売ってはいかん…

さもないと……

そう…
あれはまだ…

あれはまだ…
ふさふさ〜
ワシの頭がフサフサしていた頃の話…

しかし
そんな森の平和も
長くは続かなかった…
ボ…
ボス!!
大変です
ボス!!

なんじゃ
騒がしい…
うるせーよ
………
み…見知らぬ
サルがボスに
会わせろと
大暴れしており
まして…
ぜぇ
ぜぇ

あーん!?
ピクッ

カヅヤ!!
え…
行っちゃう
の…?
………
ごくり

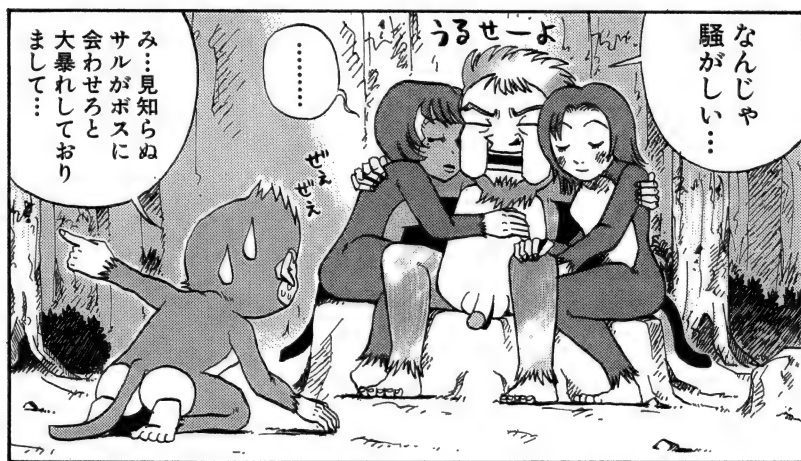
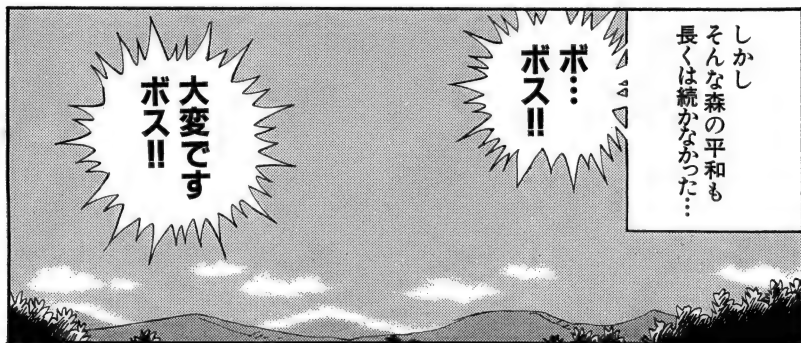
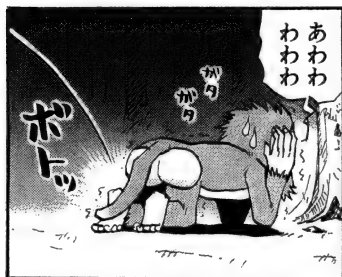
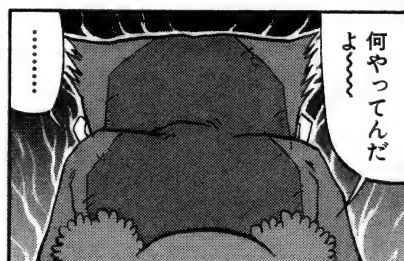
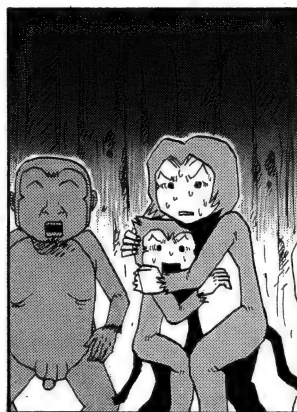
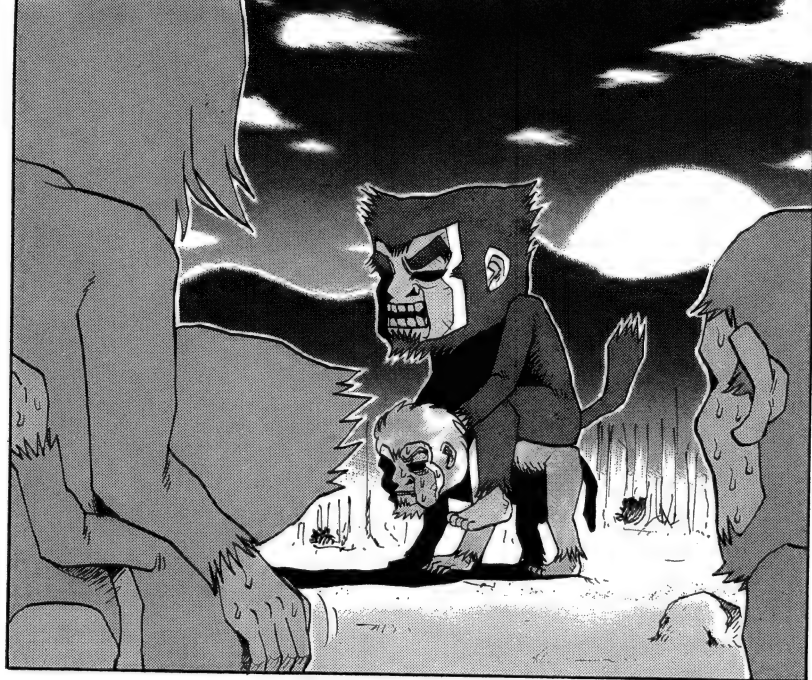
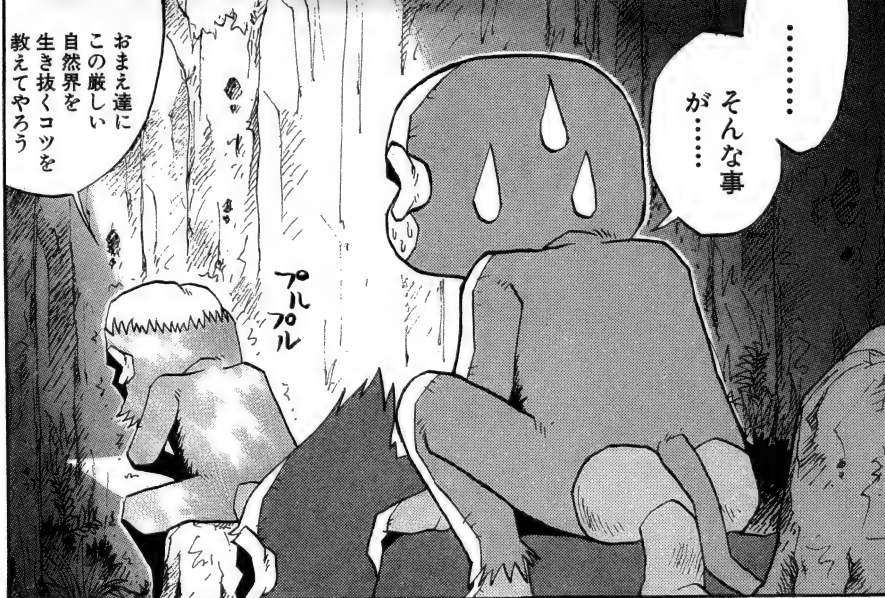
スッ
おまえさ〜〜〜

カ…カツヤ!!
ダメだよ〜

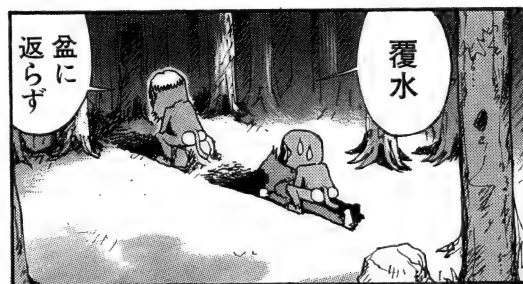
何やってんだよ〜〜〜
………

ぎや——
バキッ
ドカッ
………
ビクッ

あわわわわわわ
ガタガタ
ボトッ

ボトッ?
!?

カヅヤ……
腑甲斐ない
ボスだったワシを
許しておくれ…

……
そんな事が……

おまえ達にこの厳しい自然界を生き抜くコツを教えてやろう

プルプル

ぐぐー

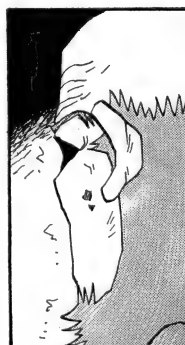
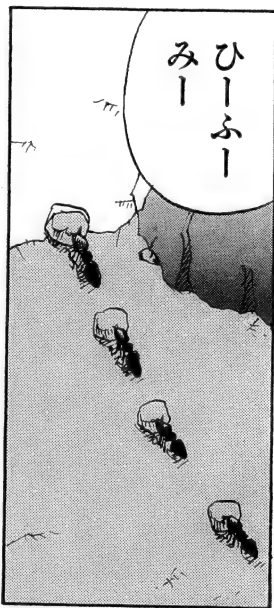
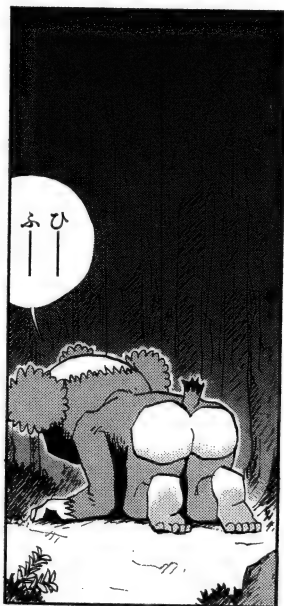
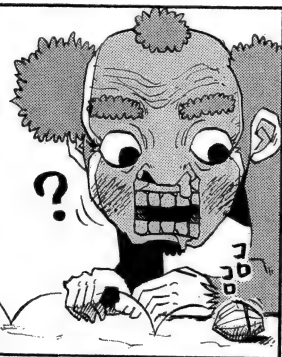
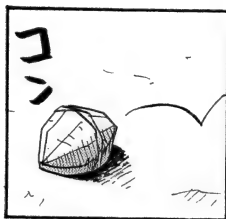
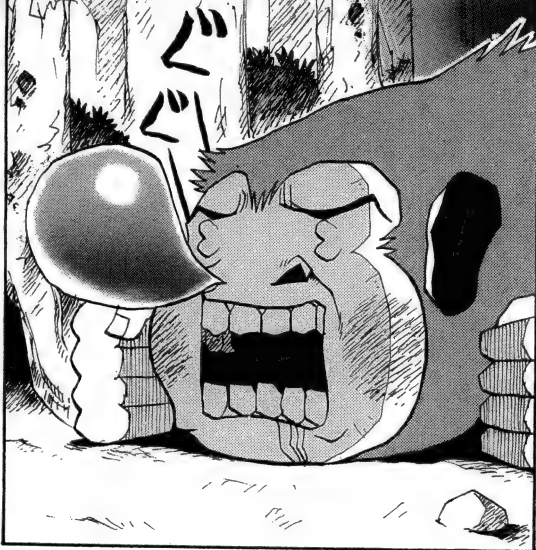
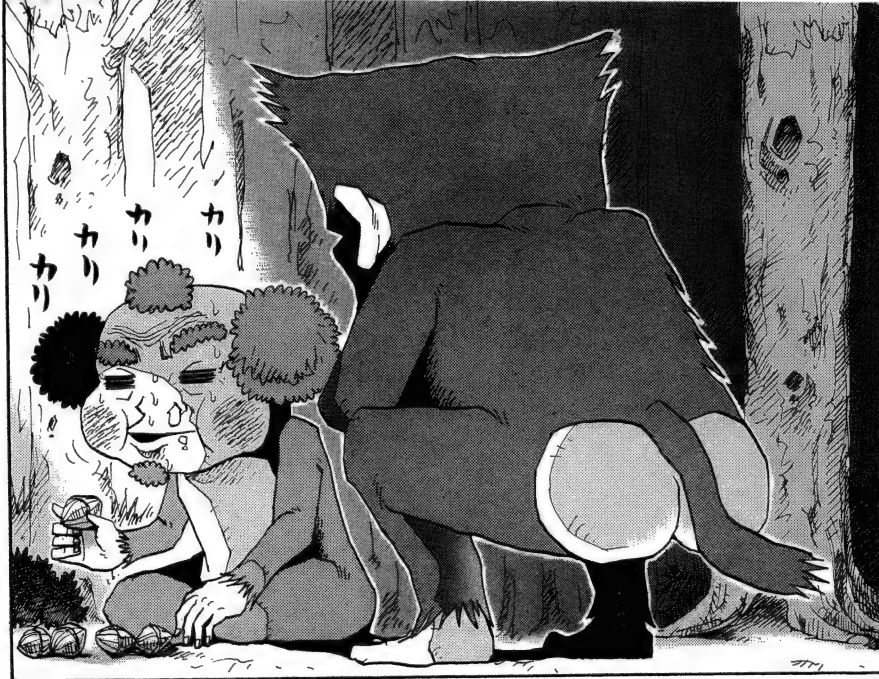
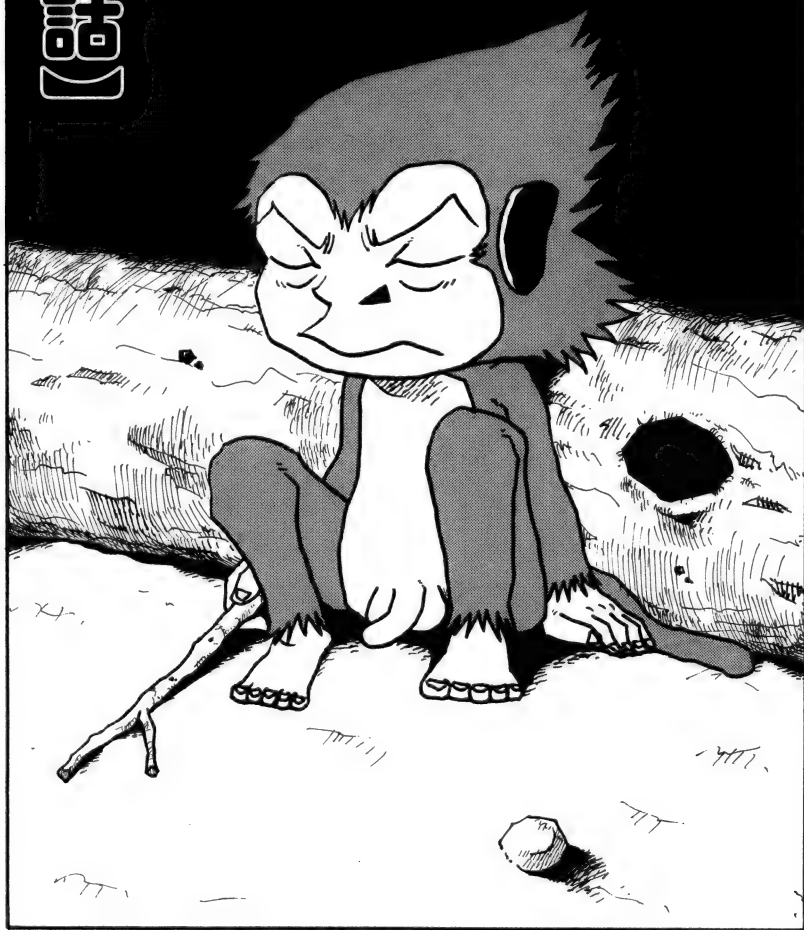
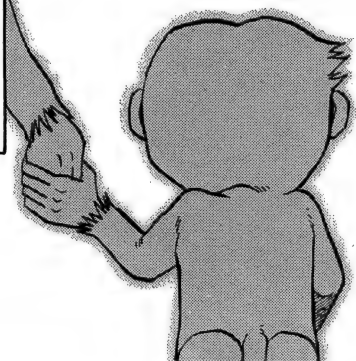
カチーーーン!!

ひーふーみー

ひーふーー

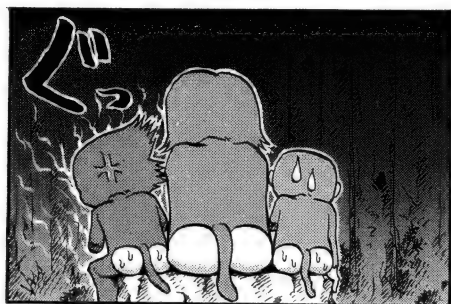
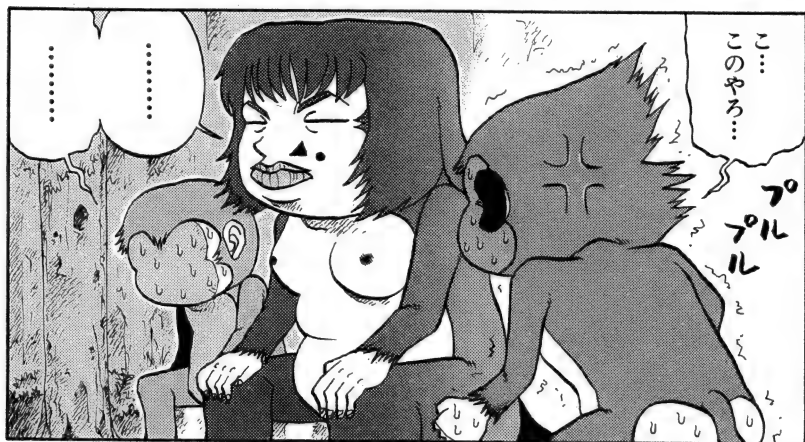
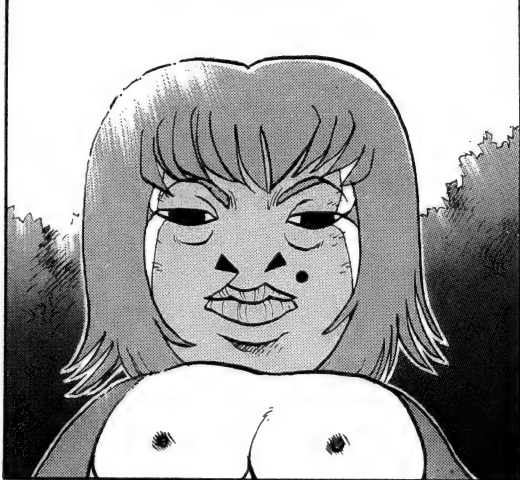
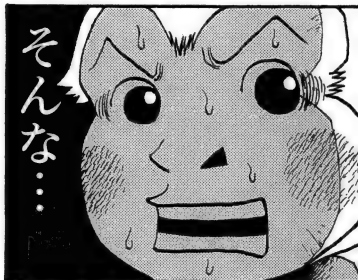
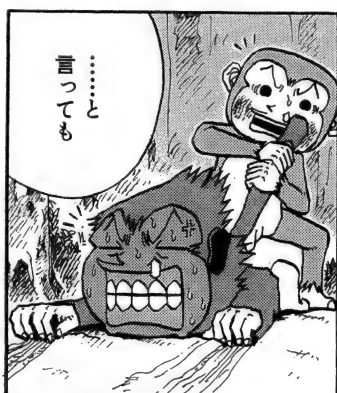
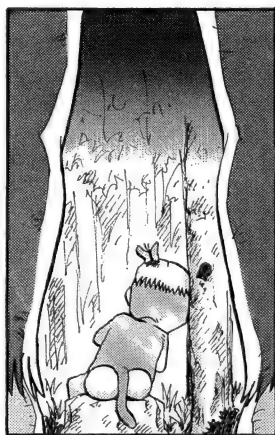
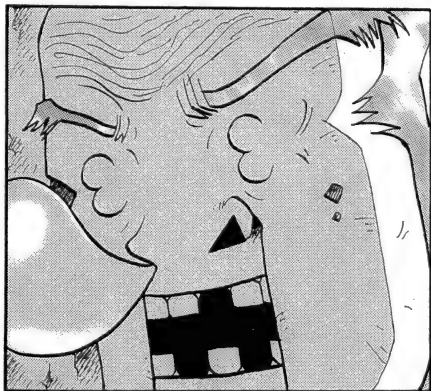
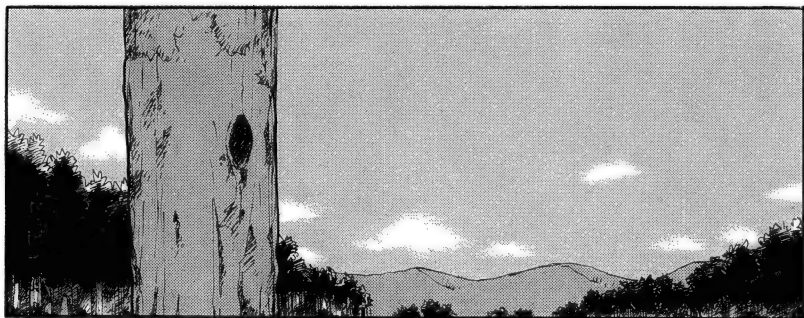
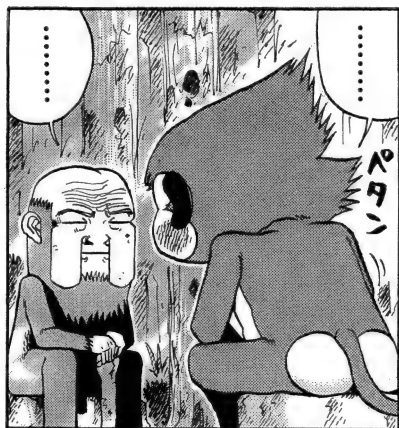
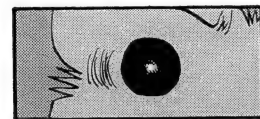
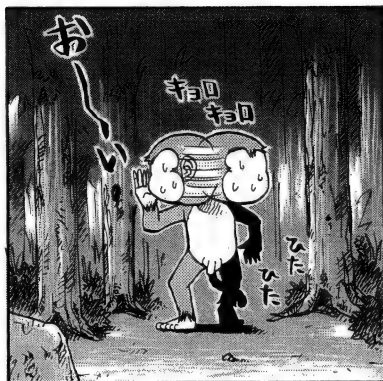
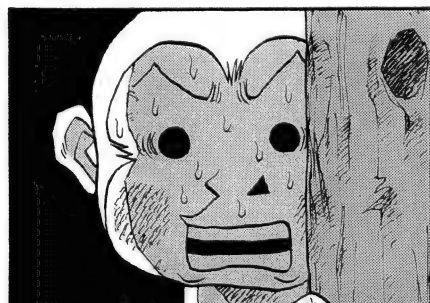
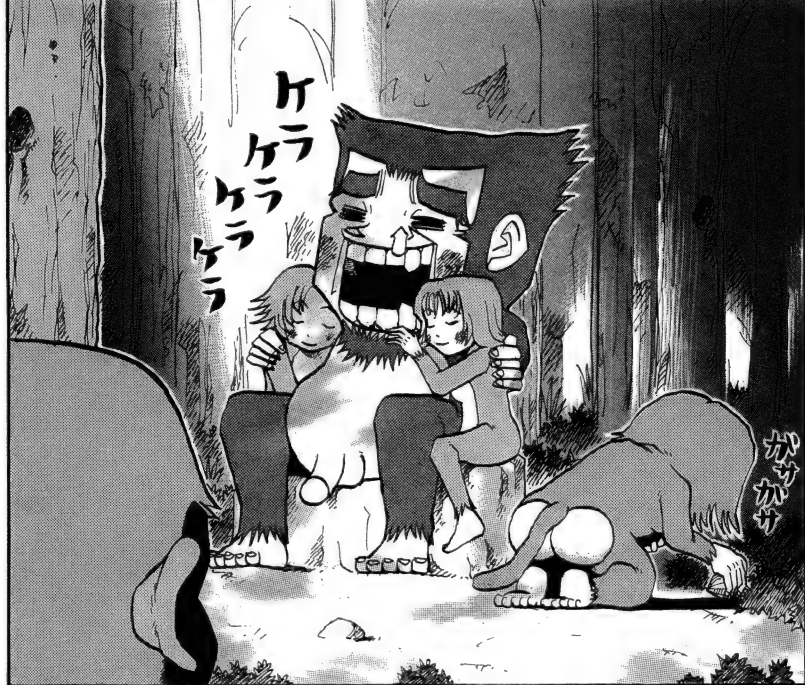
コン

?
コロコロ

カリ
カリ
カリ
カリ

【第五話】

僕達サルにも
おとーさん
おかーさんは
いる
一般的に
おかーさんは
群れで一生を送り
おとーさんは
群れを出ていく
もちろん
モンタくんにも
おかーさんは
いるんだけど…
……
?
じ〜っ
………
モンタくん……
んあ?
スッ
あっ!!

ドカッ
うわっ!!

こ…
このやろ…
プルプル
………
………

ぐっ

ドクン
ドクン
ドクン

あんた・彼に立てついてるんだって?
せっかくあんたみたいな馬鹿ザルを右腕にしてくれるって言ってんのにさぁ

マズイよ
モンタくん
早く逃げなきゃ
ヤダ
オロ
オロ

ヤダじゃなくて
早く!!
ヤダッ!!

……と言っても

あんたには
もう この群れに
逃げ場所はない
んだけどね…

何処にも
ひーふーみー
……

ぽか
ぽか

おい!!
ドンッ
ピクッ

な…なんじゃ
おまえか
ケンジは一緒
じゃないのか？
あいつは
ウルセーから
・・・
まいてきたよ
ドキドキ
………
………
ペタン
しばらくの間
旅に出るよ
出発は
明日の朝
ピクッ
…ピクニック
ではなく？
旅だ旅!!

おーーい
キョロ
キョロ
ひた
ひた

まいったな〜
モンタくん
ドコ行ったん
だろう?
つたく
もう……
ドキ
ドキ

ガサガサッ
ビクッ

モンタくん?
ドキ
ドキ

モ…
ケラ
ケラ

ケラ
ケラ
?
ひよこ
ひよこ

………
チラリ

ケラ
ケラ
ケラ
ケラ

がさがさ

…一匹で行くのか？
当り前だろ

母親には伝えたのか？

………
…まあよかろう

…モンタ目をつむってみろ

え？何？何だって!?
目をつむってみなさい

そして周りを静かに
見渡してみるのじゃ
何が見える?
おまえには何が見える?

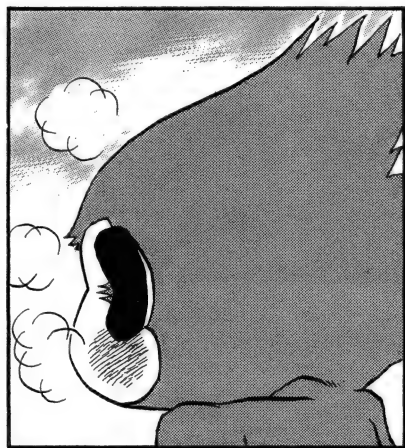
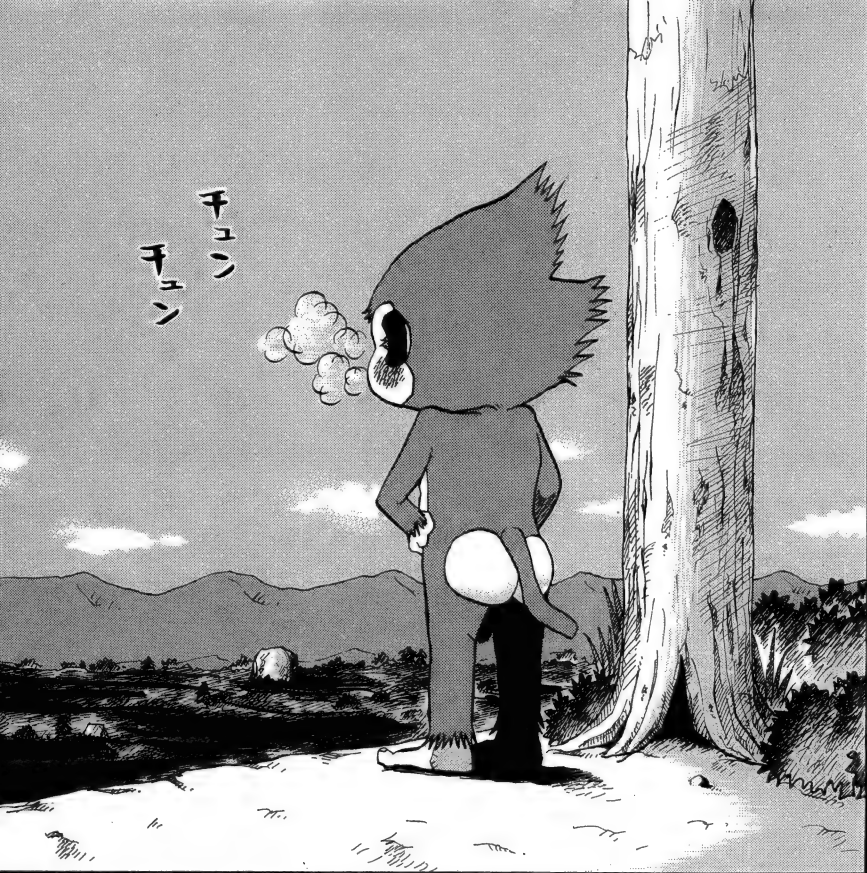
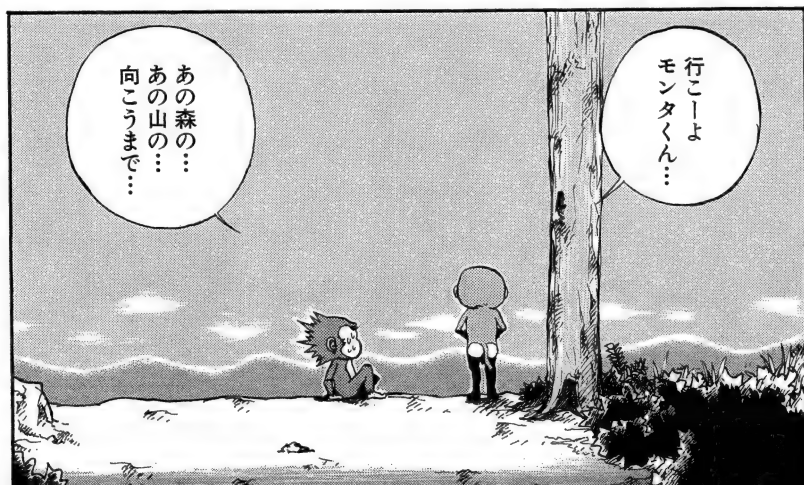
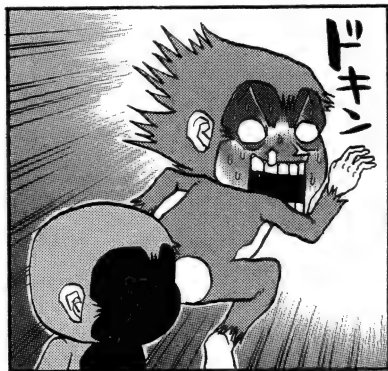
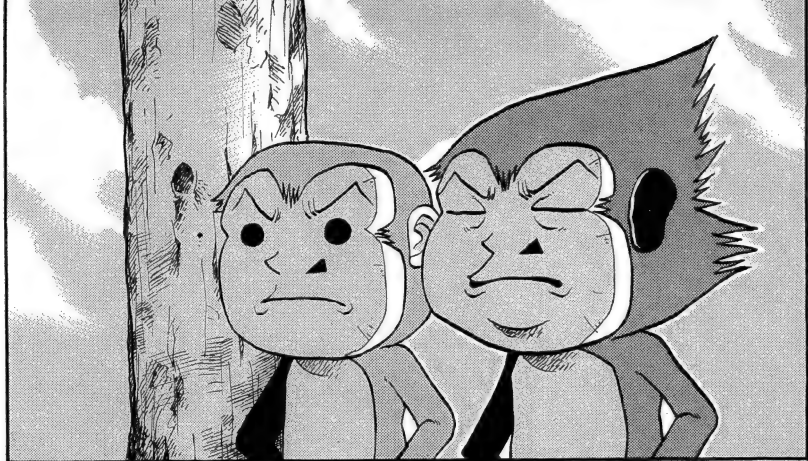
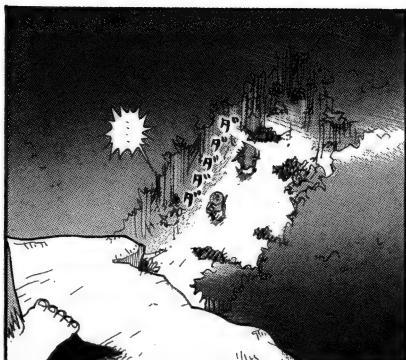
何も見える訳ねーだろ!!
しかもこの手は何だよ!?
!!
間違えた!!

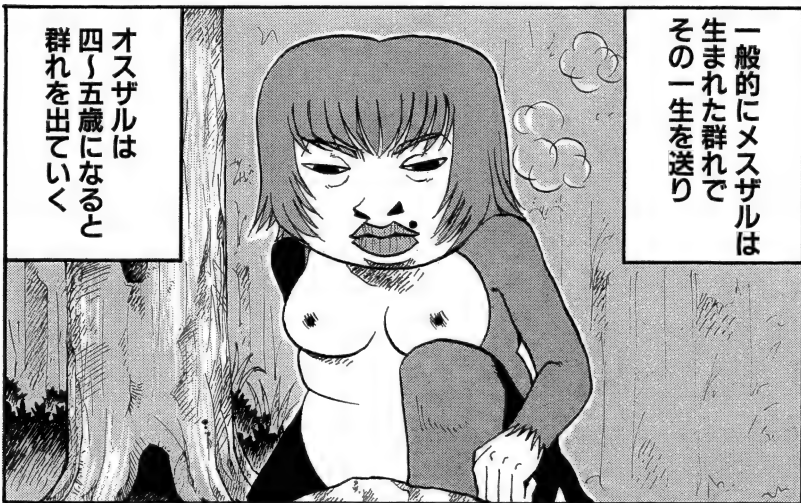
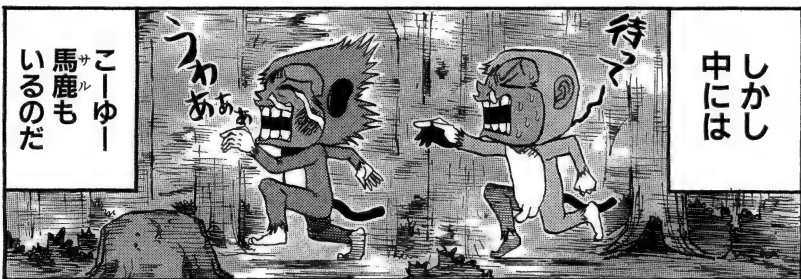
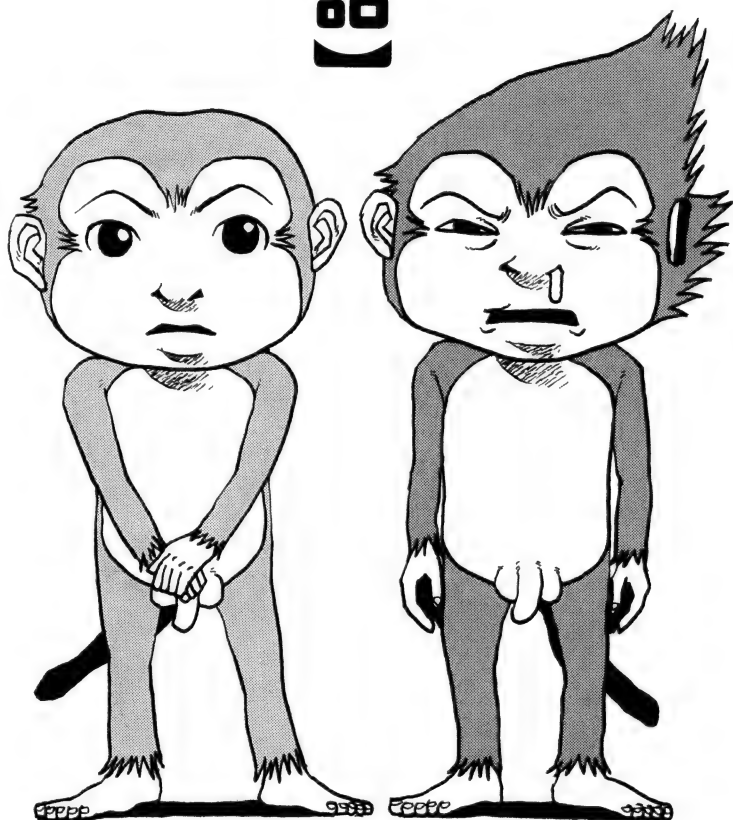
心の目じゃ!!
心の目!!
あ…ありゃ?
心の目と…
心の耳!?
いや まてよ…
もう1回
ゆわせて～
ギャー
ギャー

翌朝――

チュン
チュン

ドキン
な…何?何!?
どーしたん!?
こんな朝っぱら
から!?
ギャー
ギャー
——てゆーか
ビビるじゃん!!
聞いて
んのか!?
行こーよ
モンタくん…
あの森の…
あの山の…
向こうまで…

な…なして
キミまで…？
ドキドキ
だって…
僕達　友達
じゃない
だって
僕達…
友達じゃ
ない…
ええ!?
ダリッ
な…何!?
モンタくん!!
待って～

一般的にメスザルは
生まれた群れで
その一生を送り

オスザルは
四～五歳になると
群れを出ていく

【第六話】

僕と
モンタくんは
群れを飛び出して
旅に出た——

旅に出たサル——
僕達は言わば
自由な旅猿だ

…ここまでをオレ達2匹(ふたり)のナワバリにしよう!!

ナワバリ?

オレ達の国だ!!
キャ～
そ…そんなちょっと待ってよ…

木の実だってあるし

水もあるし
ポチャン

でも 実はコレがピンと来ました♡
何故か来たんだろーなー
チュッ

誰かが この線を越えて来たらどーするの?
あん?

線を越えた奴は…
越えた奴は…?
ガッ
ごくり

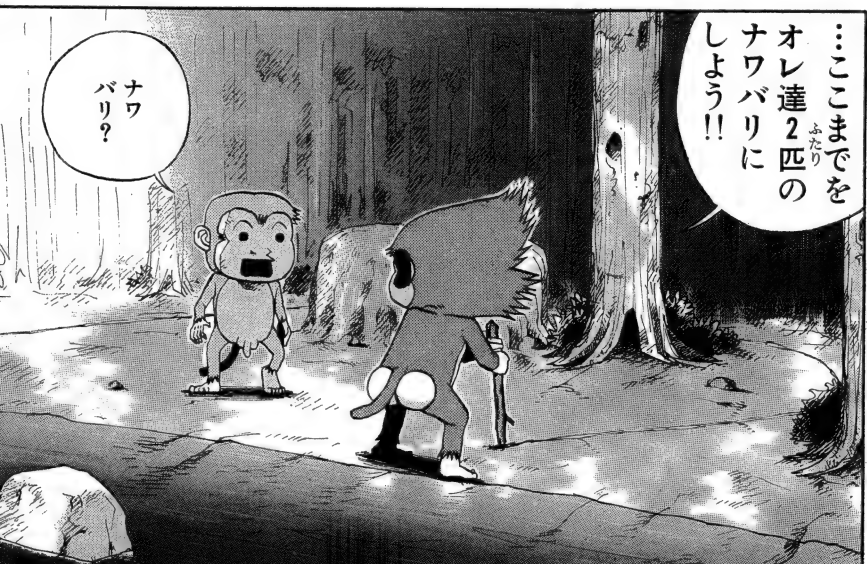
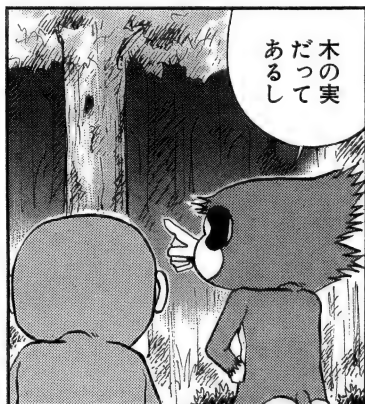
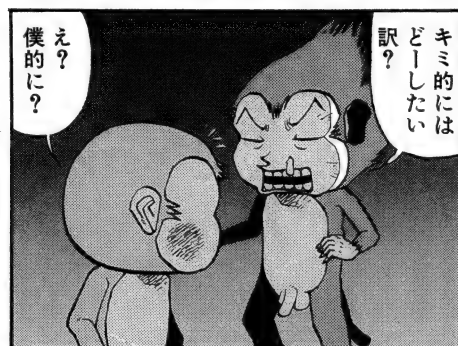
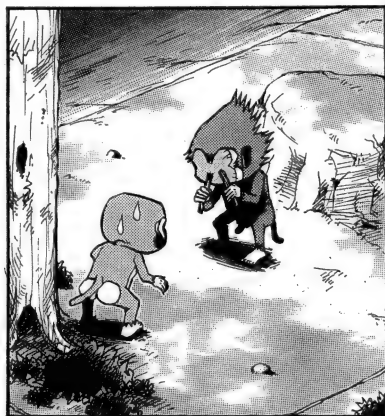
こうしてやる!!
ベキッ

お…女の子も越えて来るかもしれないよ？
あ〜〜〜〜？おんなア!?

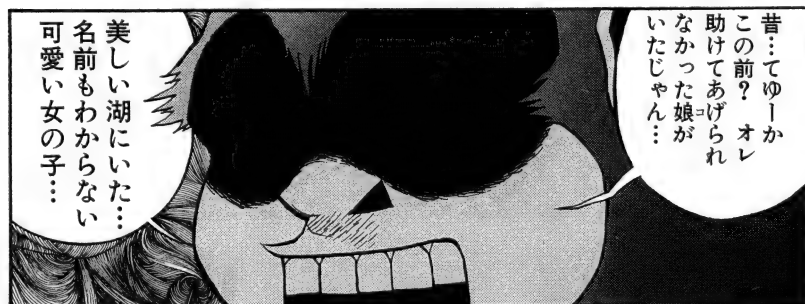
…何よ？その女は可愛いの？
うーん可愛いかな？

キミ的にはどーしたい訳？
え？僕的に？

だははははははは

いや〜〜〜

やっぱ可愛い女はウェルカムだよな!?
だよな〜〜
そりゃあそーだよ〜〜〜〜

またオレはケンちゃんて真面目くんだし
僕的には丁重にお断りしたいとか言い出すかと思ったぜ〜〜〜

んな〜〜〜僕も男なんだからさ〜〜〜〜
当り前じゃん!!
ペシッ
く〜〜〜〜〜〜〜〜ッ!!
言うね!! かますね!!

………
サッ
!?

ケ…ケンジィ…
な…何…?突然どーしたの……?
ドキドキ

昔…てゆーかこの前? オレ助けてあげられなかった娘がいたじゃん…
美しい湖にいた…名前もわからない可愛い女の子…

実はまだ彼女が忘れられないんだよオオオ!!
ガバッ
ドキッ

オレって馬鹿だよな!? てゆーかダメ猿だよな!?
——てゆーかモンタくん…実は彼女ね…
うわあああ
ギャー
ギャー

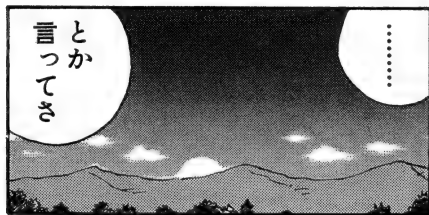
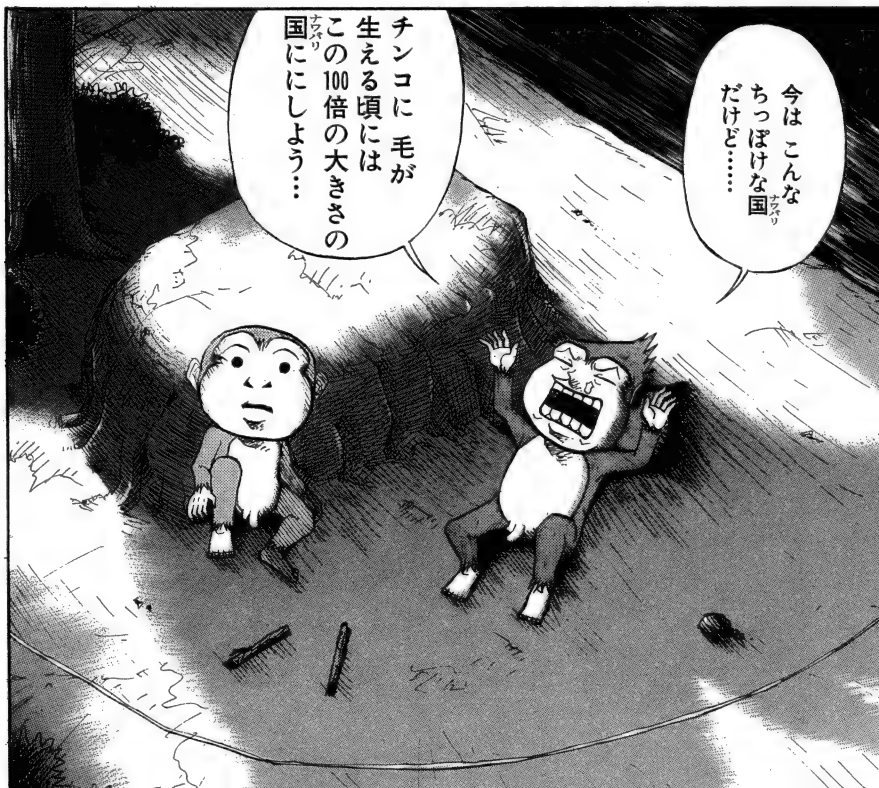
に…逃げたァ!?

え?何!?てゆー事は彼女(あいつ)助かったの!? ウソォ!?

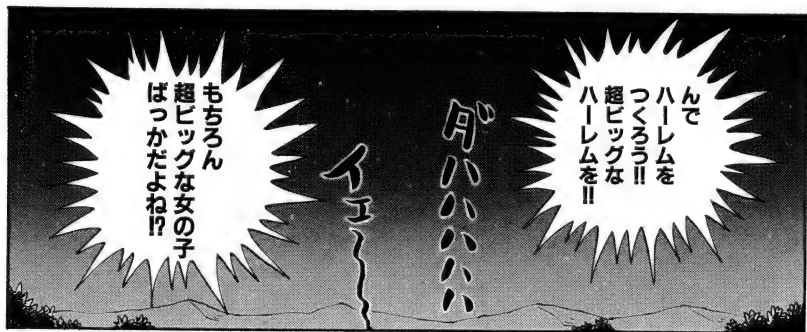
実は全然…
心の底から…
ムカついてなんか
いねーんだよォ…

つーか
むしろ助かって
超嬉しいっ
つーかさァ
そうだったのか〜
意外と
しつこいいん
だな〜〜〜〜

ゴロン

なあ
ケンジィ…

ビッグになろうぜェ
超ビッグな男によォ
今は こんなちっぽけな国（ナワバリ）だけど……
チンコに 毛が生える頃にはこの100倍の大きさの国（ナワバリ）にしよう…

言うだけが簡単なのは百も承知だぜ

分かってるよ……

んでハーレムをつくろう!!超ビッグなハーレムを!!
ダハハハハハ
イェ～～
もちろん超ビッグな女の子ばっかだよね!?

え～～～～!?超ビッグてドコが超ビッグな女なんだよ～!?
ぴょん
うひひひひ
やーめーてよ～
んな事分かってるくせにィ～～

何だおまえら!?
え?

…ホモ？

モンタくん…

はぁ!?

その線からこっちはオレ達の国だ!!
その線を越えてみろ…越えた奴は…

越えた奴は?

越えた奴は…

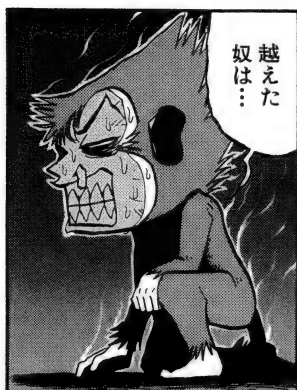
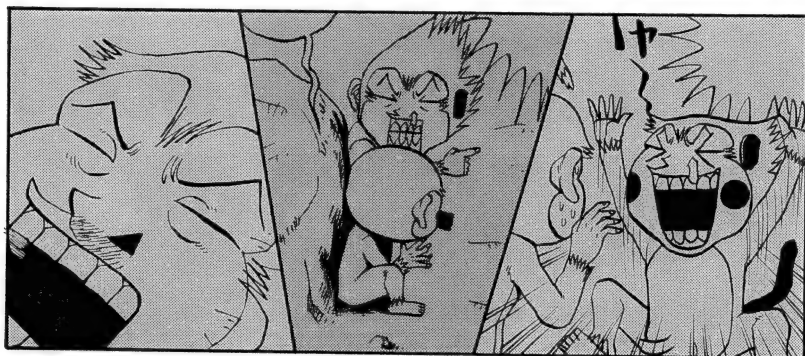
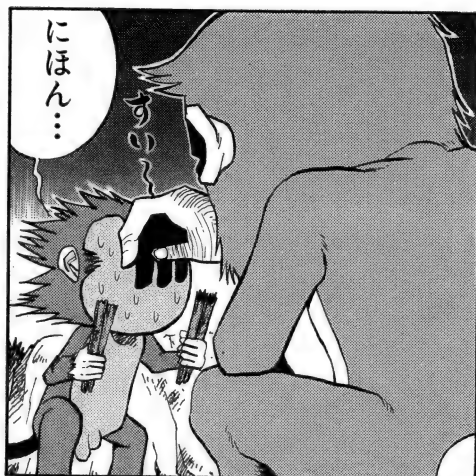
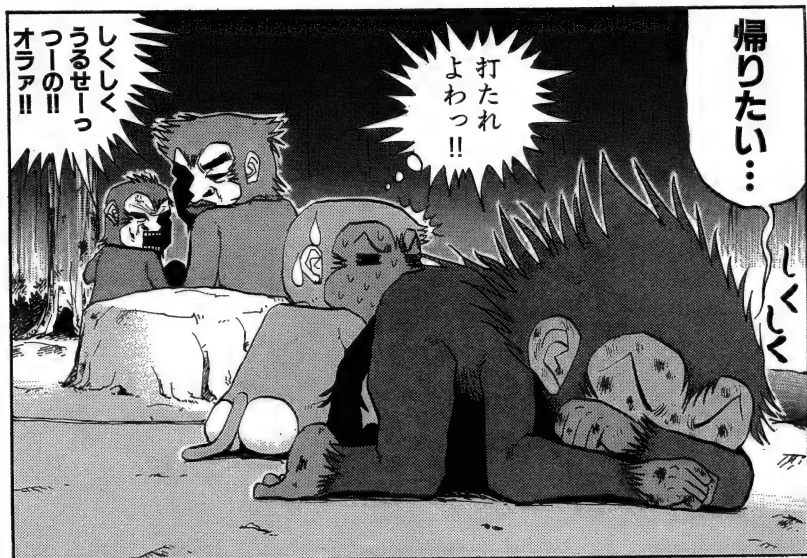
こうしてやる!!
ベキッ
……
あぁ!!
ペタッ
に…2本同時折りだよ…
ホントだよ～
やってまえ
アンドレ…

グイッ
に……
にほん…
すい〜
ヤ
ビッグに
なろうぜェ…
超ビッグな
男によォ……

しく
しく
しく
しく
しく
しく

しく
しく
…………

モ…モンタ
く〰〰〰ん
しく
しく
しく

帰りたい…
しく
しく
打たれ
よわっ!!
しくしく
うるせーっ
つーの!!
オラァ!!

【第七話】

旅の醍醐味は
いろいろな
動物達との
出会いだ
おーれーはー
じゆーなー
モンタくん
危ないよォ
出会いは僕達に
いろいろな事を
教えてくれる
ひょこ
ひょこ
あ
うりゃ
うりゃ
!!
ピタッ

あーー
どーも
どーも
コンチ!!
どーも
でーす

あなた達は
この辺の猿なんスか?
いえ

俺達は
群れを抜けた
旅猿なんス
コイツは
俺の右腕の
ミツル
ども

今はまだ
到底群れとは
言えませんが
いつか大きな
群れを作るために
旅をしています
………

マ…マジで?ウソ!?
いっいっしょじゃん!!
俺と
いっしょ!!
ガッ

うわ〜〜〜っ

これがその時
ボスにやられた
耳っスか…

生々しいっ
スね…
ま───
ね───

痛くなかっ
たっスか?
え?

ミツルッ!!
ドカッ
グエッ!!

とっ突然
どーした
ん!?
オラァ
このバカザル
がぁ!!
オロ
オロ

おまえは殴られて
痛くないのか!?
痛い筈だ!!
その痛みから
耳をもがれた時の
痛みを想像して
みろッ!!

超痛いと
思います
ちょっ……
超とか
言ってんじゃ
ねーーー!!

ホント
すいません
でした
い…いや
気にして
ないんで…
ペコリ

にしても
ボスにケンカ
売るなんて
凄いっスね

いや〜〜〜
やっぱ大変
でしたよ
ボスにケンカ
売った途端
群れの奴らと
きたら…
マジでさ

分かります
……………
え？

いや
すいません
昔の話
なんですが

実は俺も
あまりに独裁的な
ボスのやり方に
不満を持ち
ボスに
立ち向かう
手立てを
思案した事が
あったんです…

三日三晩考えた
その手立ては
理論上では完璧
次の日 俺は
日頃ボスに不満を
持つ数匹の仲間に
作戦を
打ち明けました

…しかし
ごくり

仲間だった筈の
彼らは
首を縦には
振りませんでした
全員蜘蛛の子
散らすように
離れていくばかり
ではなく…

その内の誰かが
俺の計画を
ボスに
漏らしたらしく
挙げ句の果てには
群れを追われる身と
なってしまいました
ダダダダ
いたぞ

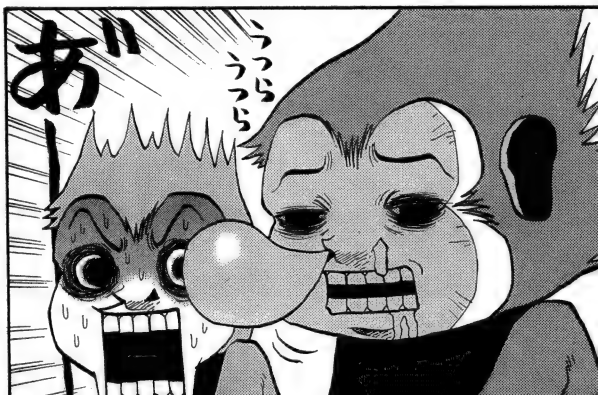
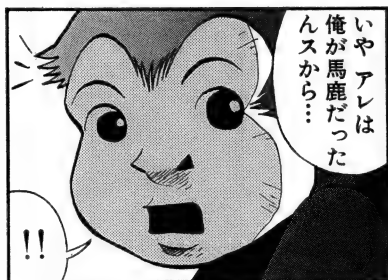
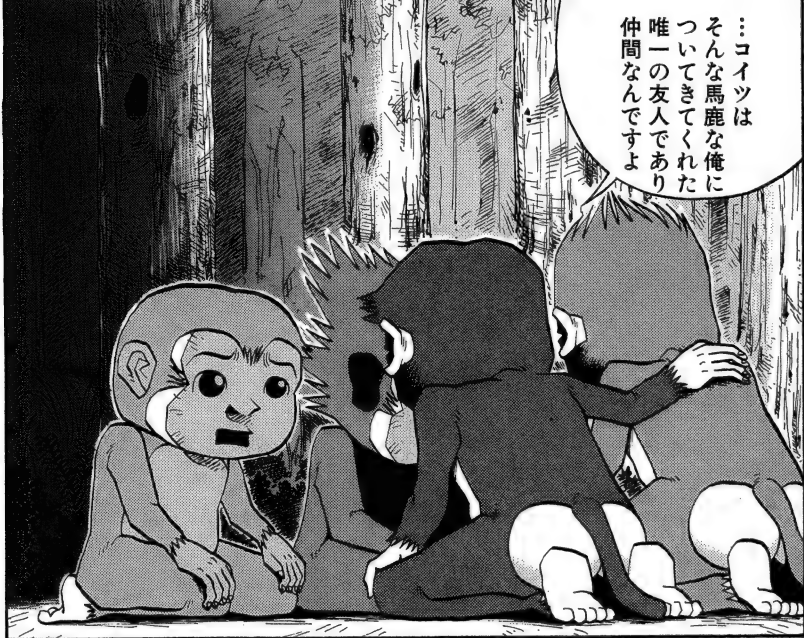
そして余談では
ありますが
風の噂では…
・・・・・・
その内の誰かが
後にボスの右腕に
なったとか…

…コイツは
そんな馬鹿な俺に
ついてきてくれた
唯一の友人であり
仲間なんですよ

あ――なるほど…
へ――…
むにゃむにゃ

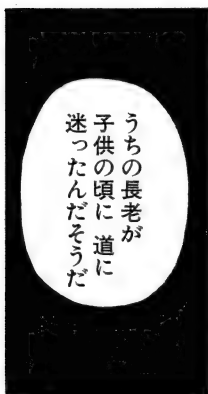
そう…これからの時代は…

あなた達や俺達のような若い猿が
この腐り切った猿社会を変えていくんスよッ!!
ドンッ

………
…てゆーかさ

せっかくだし
もーちょっと
オモシロイ話
しよーよ…

…面白い
話とは？
うん？
そーねー
たとえば…

たとえば…
オレ達の群れでは
かなり有名な
話なんだけど…
ええ…

うちの長老が
子供の頃に 道に
迷ったんだそうだ

丁度オレ達と
タメくらいの
時…
右を見ても
左を見ても
木ばっかり…
つーか森は
木ばっかだけど
ホー
ホー
オロ
オロ

そのうち
日が暮れて
空腹と寒さの中
ひとりの少年が
見たものは…

…見た
ものは？

こ…こ――んなデカイ
木の実を見たっ　ぶっ
ははははははははは

超ウソくせ～

あら？
しーん

……
……
ちらり
さっ

は…話の腰を折るようですが

あなたは群れのボスを志すにあたって理念などはありますか？
え？
りね？

ね…ねえねえケンちゃん…りねって何？
おりゃあ聞いたことすらねーよ…

理念です
簡単に言えばあなたはどういう群れを作りたいかという…
……

オレのりね!!

それは可愛いギャルがたくさんいて木の実が豊富でドコよりもデカイ群れにする事!!

なんだ
あのヤロウ
別れの挨拶も
なしかよ？

せつね――
な――

モンタくん!!

あん？

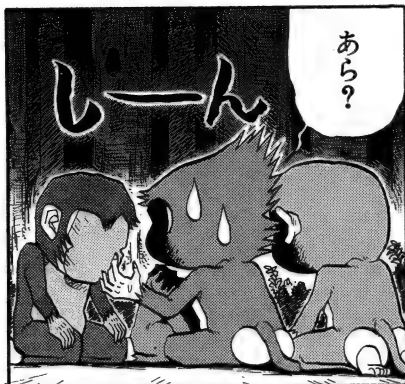
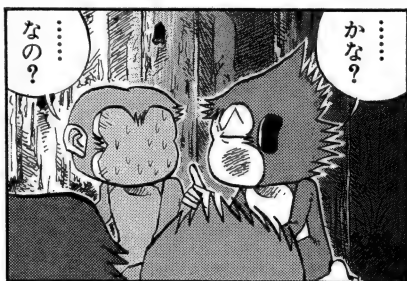
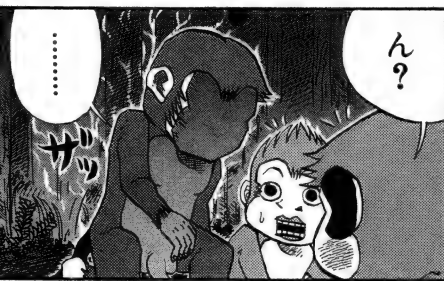
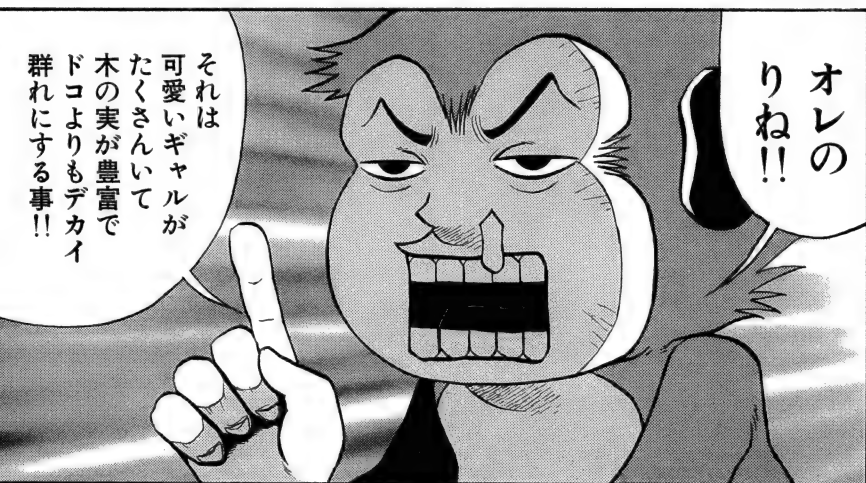
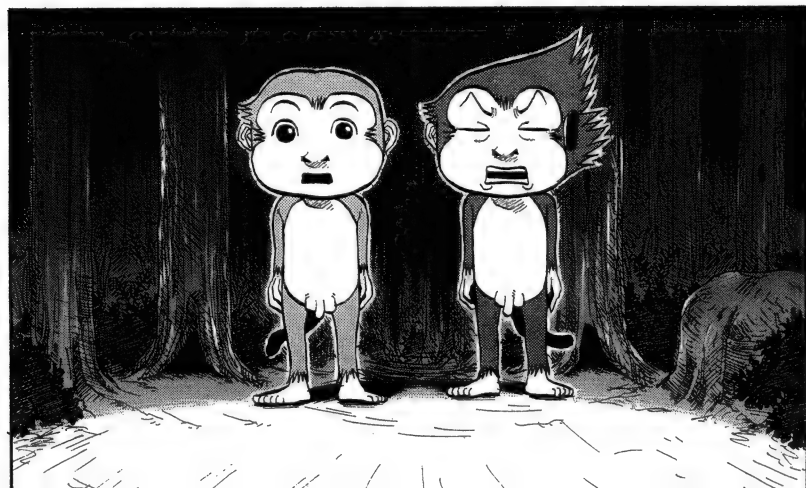
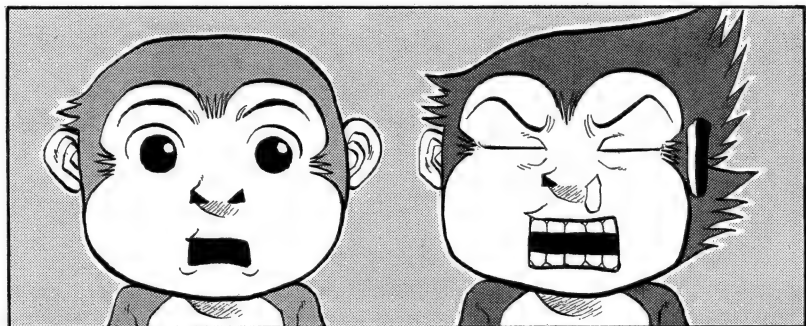
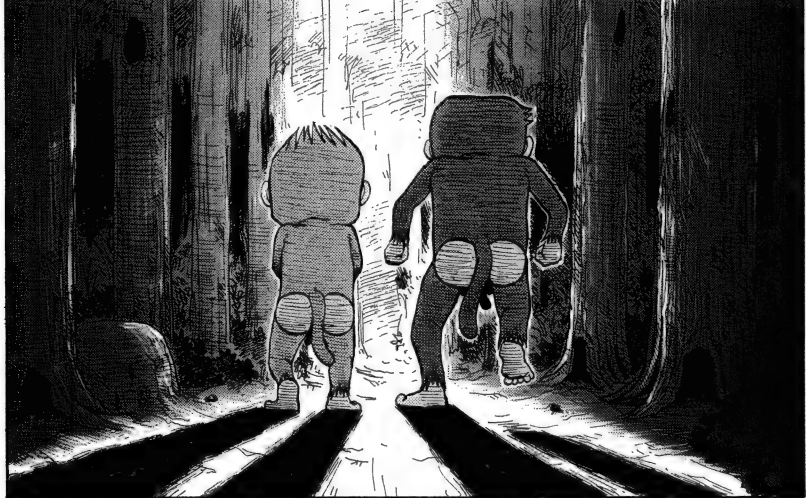
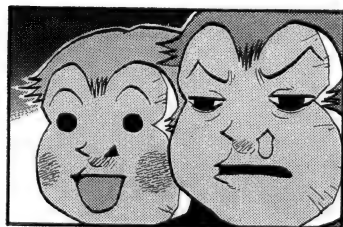
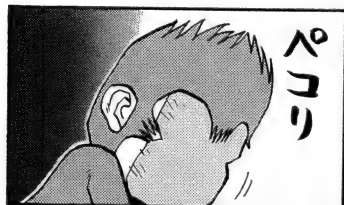
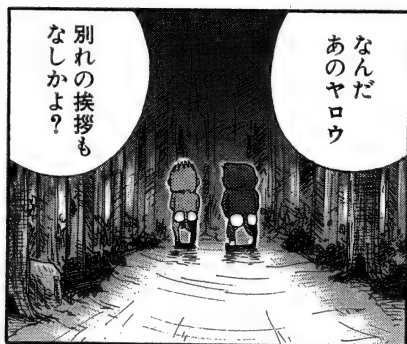
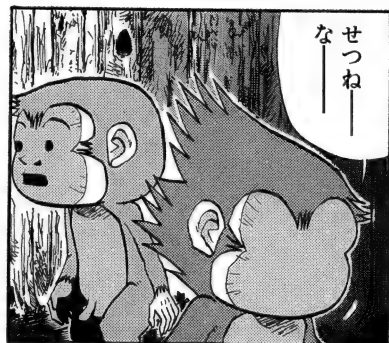
ペコリ

マジでさあ…

マジでホントいろんな奴がボスを目指してんな——

そうだね……
ファ
見たかよ？あの怒り狂った時の奴の顔…

オレはどんな理由があろ——とおまえを殴ったりはしね——ぞ
マジで…
うん…
てく
てく

【第八話】

猿道というものは
死ぬことと見つけたり

二つ二つの場にて早く死ぬはうに片付くばかりなり
別に仔細なし胸すわって進むなり

ウッ!!
ハアッ!!
トオッ!!
バババババババ
ブルブル

あ〜〜〜〜
もお動けね
絶対動けね
ピタッ
ぜえぜえ

そんな…
頑張ろーよ
あと少し…
…?
フゥフゥ

あと少し
だからさ
ナーニが
あと少し
だよ…

もう少し
歩いたら木の実も
あるハズだし…
取ってきて
え〜〜〜〜
だりーよ〜

もう おりゃあ
しんでもいいや
もういいよ…

サッ
?
ズブッ
ああああああああああ

死ぬことと
見つけたり
え？

何いってんだ
おまえ？
てゆーか
おまえ誰!?
………

我々ニッポンの猿は
腹を据えて
余計なことは考えず
ただ邁進すれば
いいのだ
そして生と死の
いずれかを選ぶ
時が来た場合は
迷わず死を選べば
いいのだ

どこの群れの
ガキかは知らん
が…
旅でもして
視野を広げれば
おまえ等にも
きっと分かる

つーかオレ達
旅猿だしィ
んな事
ゆわれてもな～
困っちゃう
よねぇ
え!?

…てな感じで

ボスに耳もがれてさ
旅っつーかこんなんなってる訳だ

確かによく見たら左耳が…
ドキドキ
あとヤンキー猿にからまれたこともあった

ヤッヤンキーモンキー!?
ひ〜
あ——この前の…

あいつらノールールだからな
今考えたら生きてるのが不思議だな

…ところでおまえ達はいくつだ!?
あ?

な…何だよ このオヤジ？

わ…分かん ない…

あんたまたよその子に猿道とか何とか訳の分らないことを……

とーちゃん…

いっいってないよ…

私は情けない
馬鹿猿です

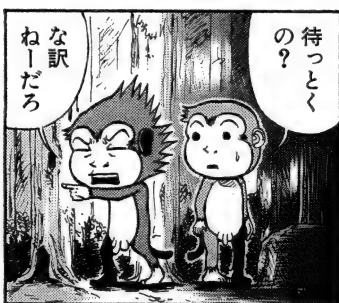
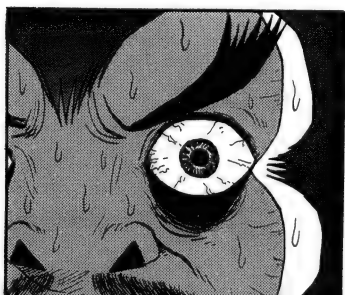
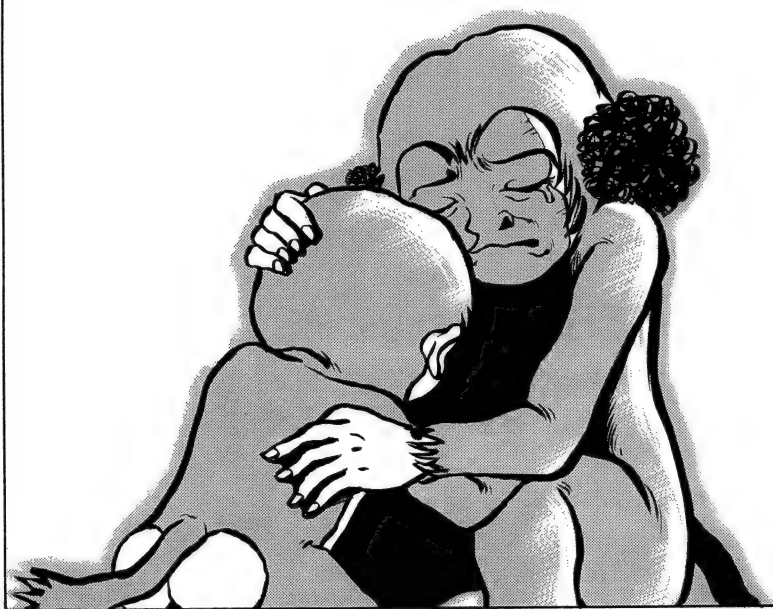
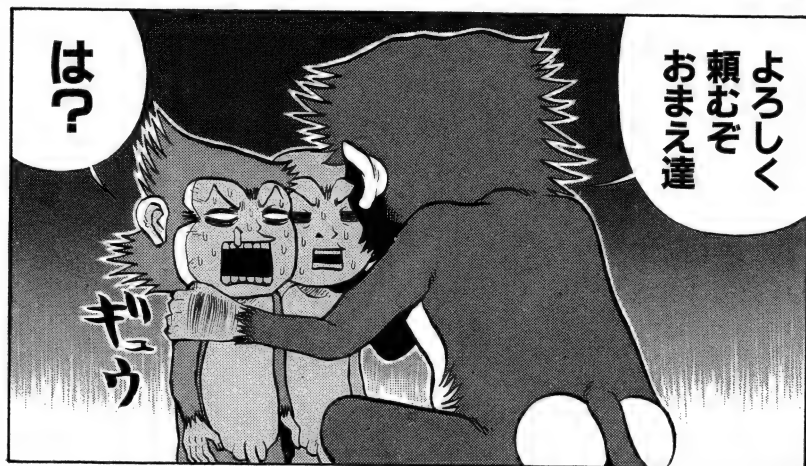
バッ
おっ俺も旅に出ちゃう!!

父ちゃん!!
フゥ
フゥ
………
父ちゃん
行っちゃやだ
……
来るな!!
おまえも
俺の歳…
とゆーか
4~5歳に
なったら
分かる
絶対に
分かる
……
わ…
分からない
よーーッ!!
うわああ
ダッ
ヨシハル!!

戻って
やれよ…
ポン

きょ…
今日の今
この瞬間から
え？

よろしく
頼むぞ
おまえ達
は？
ギュウ

最初に
これだけは
いっておく
6歳と3か月
年上の身から
最初にこれだけは
いっておく

友や愛する者は命懸けで選び抜き
半分眠ってるような馬鹿者は容赦なく切ってしまえ

腐った木の実はおまえ達の心を冒し腐らせる

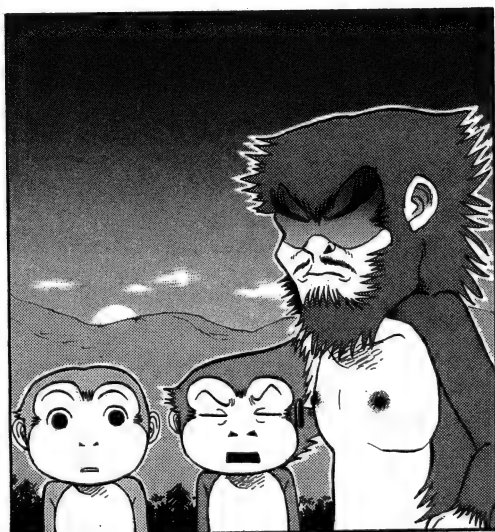
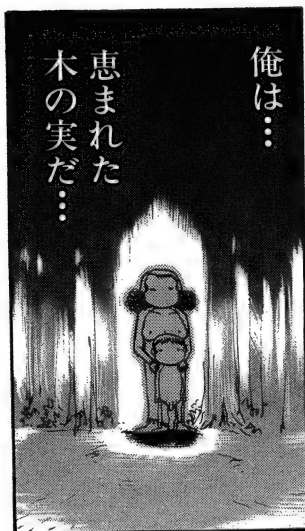
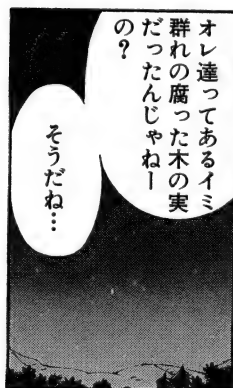
ホー
ホー

か〜〜っ

アケミ…
ヨシハル…
か〜〜っ
ムニャ
ムニャ

腐った木の実は
冒し腐らせる
ていって
たね

オレ達ってあるイミ
群れの腐った木の実
だったんじゃねー
の？
そうだね…

チュン
チュン
シーン
チュン
チュン
も…もしかして俺は選び抜かれたのか――ッ!?
腐った木の実ってか――!?
うおー
僕は悪い猿とは思わなかったけどな~~~
腐った木の実とはいわねーけどさァ
まー縁があればまたドコかで会うっしょ?

【第九話】

僕とモンタくんは
眠りたい時に寝て
起きたい時に起きる
自由な旅猿だ

だけど もう
4日間は木の皮と水
しか口にしていない

あーーーっ
腹へった〜

どーして
木の実一つ
ねーんだよ

ちくしょ〜〜〜〜

訳分かん
ねーよ…

……

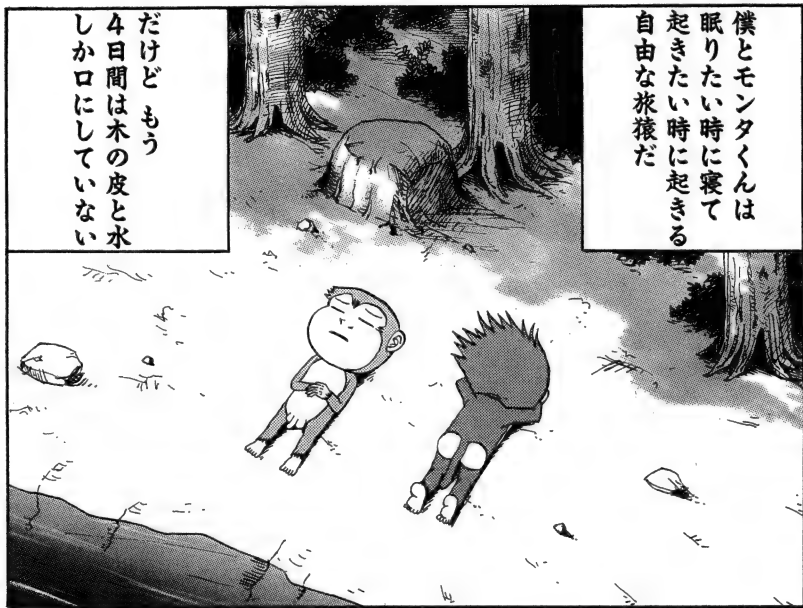
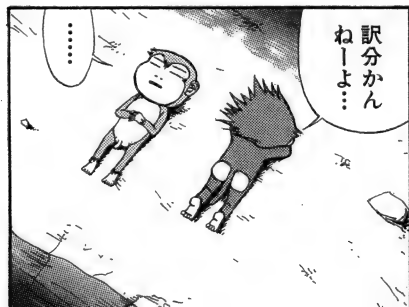
ギャーギャー
腹へった〜〜
そ……
そりゃあそうだよ
当り前じゃないか
モンタくん…

今まではボスが
僕達の食糧を守っていて
くれたんだから…
てゆーか
それがボスの主な仕事
じゃないか…

そんな事すら気付かず
ボスになろうなんて…
ギャーギャー
もーイヤ
帰りて〜
バタ
バタ
何て甘いんだ…

じゃ…じゃあ
向こうの森
でも探しに
あ——
ムリムリ

ムリムリって
でも…
………

なあ
ケンジィ…
何？

昔 長老がさ
こんな事を
いってたよ
多分というか
確実に誰かの
受け売りだと
思うけど…
カリ
コリ

この世の
全てのもの…
いうなれば
ワシやおまえも
この世の全ての
ものは
分母と分子と
いうもので
出来ておる
分母がブルーで
分子がハッピー…
この世の全てのものは
分母がブルーで
分子がハッピーなのじゃ

何ソレ？
てゆーか
分母とか分子って
何なの？
しらねーよ

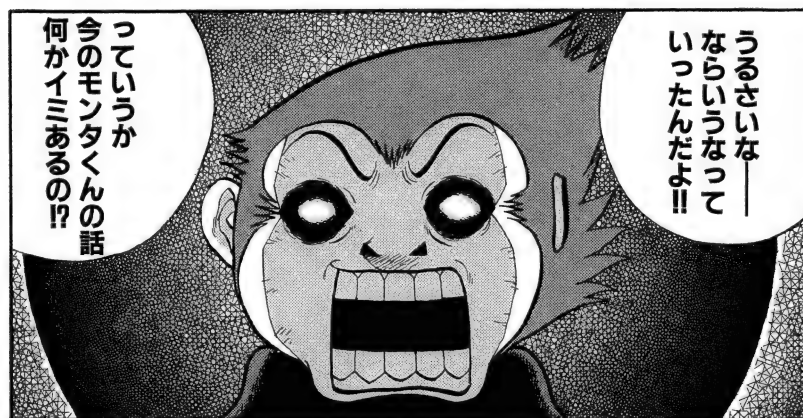
しらねー
って…
カチン

ならいうなよ
ボソッ
カチン

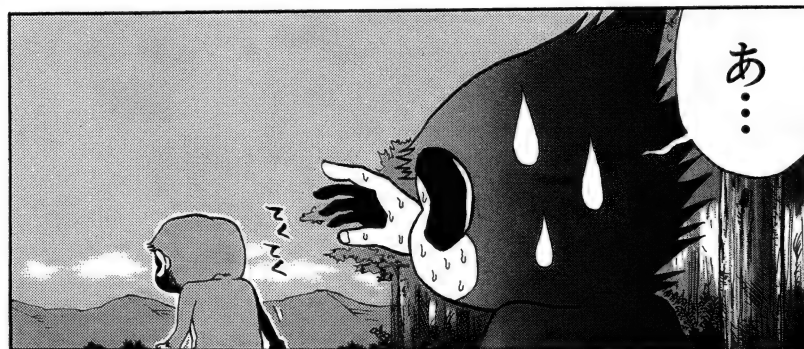
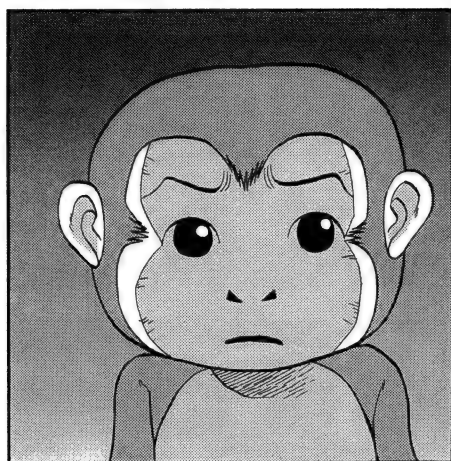
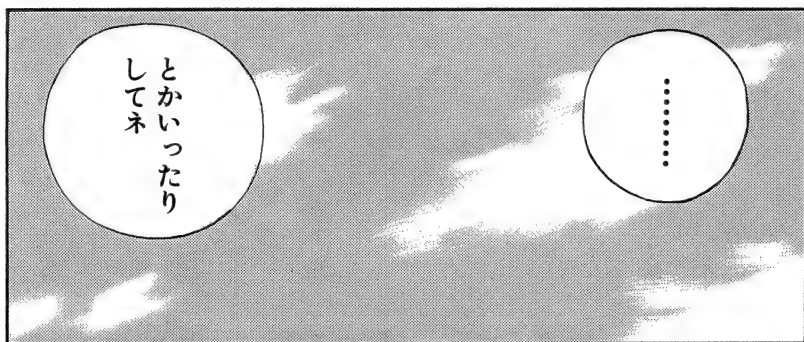
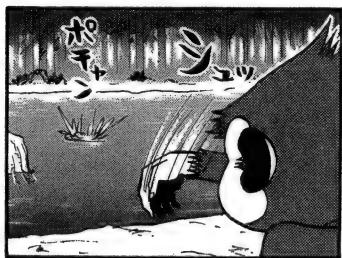
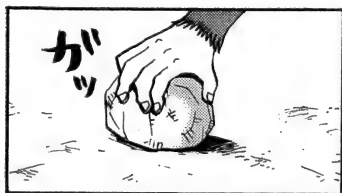
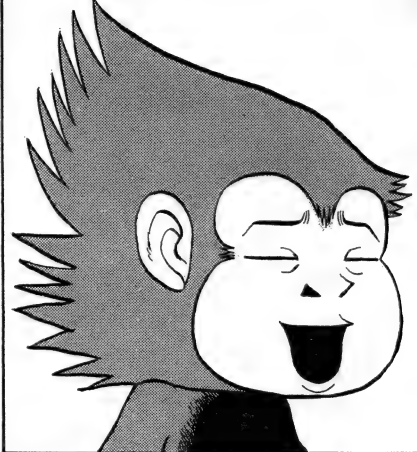
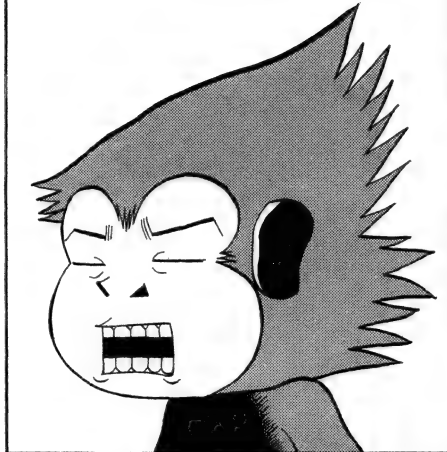
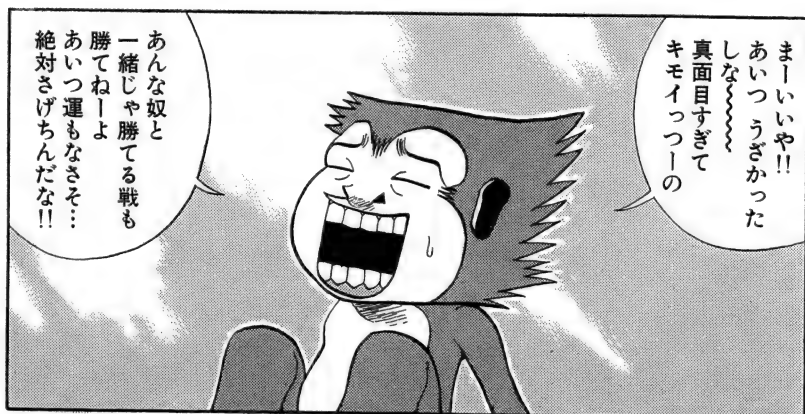
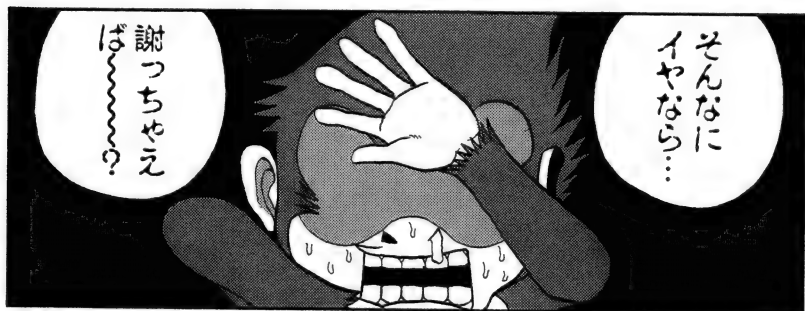
え？何？あれ〜？
ケンちゃん今 何てゆったのカナ〜？

うるさいな――ならいうなっていったんだよ!!
っていうか今のモンタくんの話何かイミあるの!?

イ…イミとかそーゆー寂しい事いうなよ

とにかく訳の分からない事いわないでよね
イラつくからさ

なっなんだと
コラ――ーッ!!
せっかく俺様が場を
盛り上げよーとして
やってんのに その態度は!?
そっそんなトークで
楽しく笑える訳
ないじゃないか!!
とゆーか
むしろ寒いよ!!
寒すぎだよ!!

モンタくんはいつもそうさ!!
群れを出る時だって
僕が一緒に行くよっていってるのに　なんで?って…

そんなの親友だからに
決まってるじゃないか!!
そんな事いわせるなよ!!

ハァハァ
ゼェゼェ

こいつ一体いつの
話してんだ!?
薄々気付いてたけど
こいつ気持ち悪ィ…

今のモンタくんは
心が腐り切ってる
よ……
このままじゃ
モンタくんは…

僕は
モンタくん
にね…
あ―――っ
もうしゃべん
な!!

イヤ!!
しゃべる!!
親友としていう
けど モンタくんは

親友親友
ってなぁ…
え?
プルプル

オレは
おまえ
なんか

親友だなんて
これっぽっちも
思ってねえ!!

…………
とかいったり
してネ

さーて
木の実でも
探しに行く
か!!
腹へったナ〜

チラリッ

あ…
てくてく

あの…
てくてく

ケ…ケンジくん？
おーーい

ガッ

シュッ
ポチャン

………
ぐううううう
……
ぐうううう
まさか あのやろう
マジでこのオレ様を
おいていったのか
……？
ドキ
ドキ

まーいいや!!
あいつ うざかった
しな〜〜〜
真面目すぎて
キモイっつーの
あんな奴と
一緒じゃ勝てる戦も
勝てねーよ
あいつ運もなさそ…
絶対さげちんだな!!

全然問題
なしじゃーん
いえ〜〜

マジで
いってんの?
にゅる
ビクッ

!?
!?
ドキ
ドキ

………
ねえ…
それマジ?
にゅる

にゅるん

キャ〜〜〜

だ…誰!?
ボクに話しかける
キミは誰!?
やめて〜〜
バタ
バタ
まっ暗じゃん!!
まっ暗イヤッ!!

そんなに
イヤなら…
謝っちゃえ
ば〜〜〜〜?

ケッ!!
誰があんな
ヤローに…

カリバッ

ケンちゃんごめんっ!!

【第十話】

俺は 名もない猿だ
妻と子を捨て
群れを飛び出し
猿道を追い続け
旅猿となった
わ
わ

猿道という
ものは
死ぬことと
見つけたり…
ぐうううう
コリ
コリ

行くぞ
オラーー
!!
コリ
コリ

ホレ!!

コン
コン
ピタッ

線越え!!
俺の勝ち!!
グッ!!

もう一回だ
このデブ野郎
〜〜〜〜〜!!
え〜
まだ
やんの?

地面に線を引き
木の実を投げあう…
線に一番近いものが
木の実総取りってか…

やっ…
やってみよ——
かな——
!?

コン
コン
コロ
コロ

……
はーい
俺の勝ちね

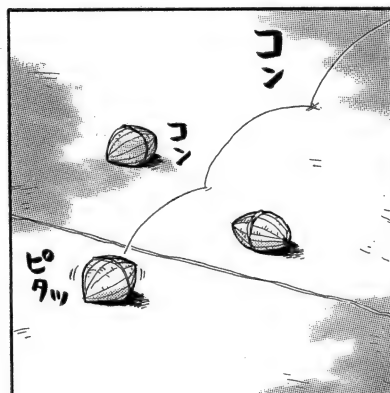
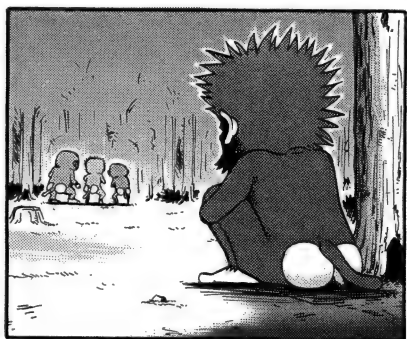
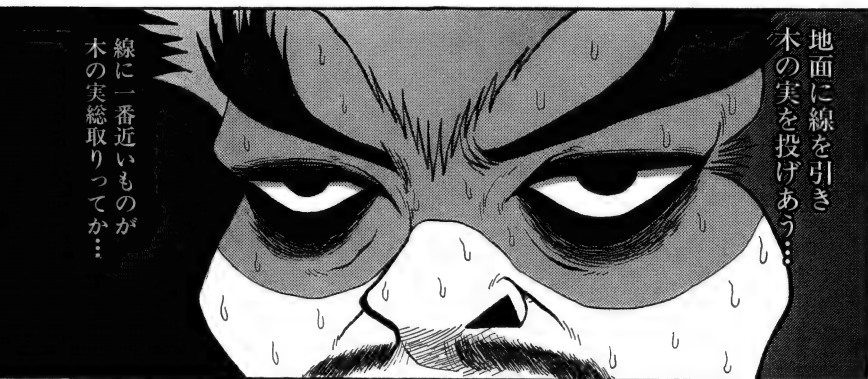
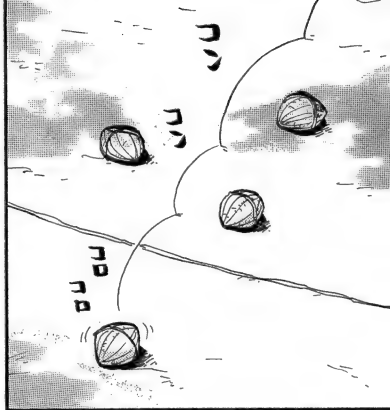
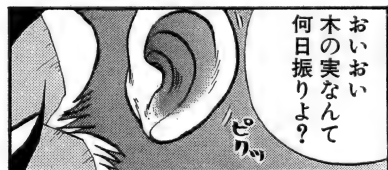
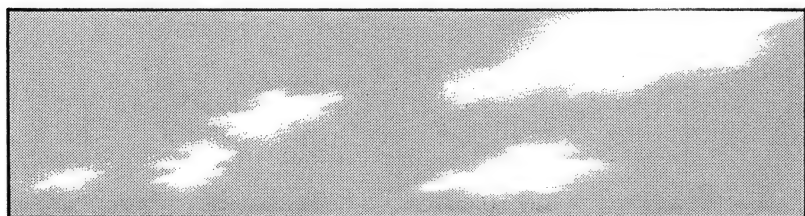
……のは
……だ
え？

今のは
練習
だよな!?
今の2回は
練習だよな
――!?
ガッ

オラァ
ふざけんな っつーの!!
死ねよ
くそっ!!
ガンッ
な…なけなしの…
なけなしの木の実をわずか数分で…
ぐお——ッ!!
バカバカバカ俺のバカッ!!
ガンガン
帰りて〜
ギャーギャー
おいおい 木の実なんて 何日振りよ?
ピクッ
大事に 食べない とね

おまえらはいつぞやの!!

え!?

ビクッ

あなた
ガキ相手に
何やってんの？
そうだよ
おじさん…
魔がさしたん
だよ―――!!

やるんじゃ
なかったー!!
やめときゃ
よかったー!!
ピクッ

…おい

やるんじゃ
なかった…
やめときゃ
よかった…
んな弱音を
吐くくらいなら
んな事 最初から
やるんじゃ
ねーよ…

そーゆー賭けを
していいのは…
てめえの尻を
てめえで拭ける
奴だけだ!!

…つまり
つまり？

てめーは
やる資格は
ね――――!!
モンタくん
言いすぎ
だって…
やはりおまえは
腐った木の実
だ―――!!
ユサ
ユサ
ぐお――――!!
何も言えない
自分がイヤッ!!

…で
そのガキ共は
ドコにいんだ?
え?

まさか
モンタくん
………
バ―――カ
勘違いすんな

オレは こんな
腐った木の実の
カタキなんて
考えてねーぞ!!
オレは
オレの木の実を
その賭けで
増やしてえだけだ!!

そ…そんな
やめたほーが
いいよモンタくん
え～～
あ―――ん？
今キミは何を
聞いてたの？

オレは何も
キミの木の実を
よこせなんて
言ってねーぞ？
オレは
オレの木の実で
勝負すると
言ってるんだ…

さあ 早くさっきの
オレの木の実を
よこせ!!
モンタ
くん…
ズン
ズン

アレは何を
言っても
聞かない目
だ…
バッ
イッエッ
フ―――ッ!!

よし行くぜ
ダメ親父!!
ダ…ダメ
親父って
ゆーな!!
いえ～
ギャ
ギャ

コン

コン
コン
コロ
コロ
コロ
ピタリ

…………
…………
ハイ 線越えは失格ね!! お疲れさまで――す!!

だから
言ったのに…
次いこーぜ
次ー

……のは
……だ
は？

な!?
だよな～
今のは
練習
だよな!?
ね？
ねね!?

さっきのじじいと
同じコト
言ってんじゃ
ね――よ!!
超うぜ～
どんっ
キャッ!!

………
モンタ
くん…
バ――カ!!

ざけんなよ
おととい
来やがれ

………ケンジ
うん?

オマエの木の実をよこせ!!
ガッ
え!?

僕の木の実は半分あげるよ!!
だからもう行こう!!
な…
バッ

何言ってんだ男がここでやめれる訳ねーだろ!!
もしくはその半分を今よこせ!!
……!!

イヤ!!俺に貸してくれ!!
え!?
てめーは関係ねーだろッ!!

………
分かったよ
!!

どーせ負けて
なくなるなら
僕がやるよ
おまえのよーな
甘ちゃんが
勝てる訳ねー
じゃん…
やめとけ～
いや
マジでさ…
僕がやる
負けても
絶対返さない
ぜ？
分かってるよ

コン

コン
コン
ピタリ

僕の勝ちだね？
あ…ああ

ふたりの分は取り戻したよ…
あ…ありがとう…
ポン

じゃあ行こう
え!?

じゃあ行こうって
これからじゃん!!
流れはおまえに
あるって!!
やっとけ!!

おまえなら
もっと勝てる
って!!
ガツンと
木の実を増やして
くれよ!!

僕はこれ以上
やる気はないし
今のだってマグレ
偶然勝ったんだ
まだやりたいなら
今取り戻した
自分の木の実で
やればいいじゃん

僕はもう
知らないよ

彼はあー
ゆってる
けど……
どーしよーか?

やるんじゃなかった!!
やめときゃよかった!!
帰りて〜〜
→やめておいた
分かった!!
おまえが真の
腐った木の実
だッ!!
つーか
どっちでも
いいって

【第十一話】

猿道がどーのとか
いうおじさんが
僕とモンタくんの
群れに加わった
でよォ～
——というか
モンタくんは何も
いわないし 多分
加わったのだろう
マジかよ～
ゲラ ゲラ ゲラ
とまれッ!!
あ?
小便を
してくる
ちょっと
待っとけ
あの野郎
何様だよ?
まあ
ちょっと
一休みして
いこうよ

逃げるなよ!!
なよ!!

んなコト
いわれると
逆に逃げたく
なるじゃねーか
つーか
逃げるか?
ハハハハ…

ったく小便も
安心して
出来ねーぞ
あのガキ共…
ジョ

ん?

アーーッ!!
ダダダダダダ
ドキッ

彼は…

僕達が前に出会った…

う…うーん…

いや〜〜〜〜ビックリです
お2匹(ふたり)とこんな形で再会するなんて

さ…再会て おまえも こいつらに 切られたのか!?

切られたとは…?
うるせー から 黙っとけよ
どんっ
キャ!!

けっ蹴ったな!! 6歳と3か月年上の俺を蹴ったな!!
ん? 何よ? 元気だった?
だらァ!!

てゆーか もー1匹(ひとり)は どーしたよ?
テンション高い彼いたじゃん?

彼は…
殺されました

え!?
それってどーゆーアレなのかしらん?

そう…

あれはちょうど一週間前 僕と彼は いつものように 同志を見つけるべく 旅を続けていたんです
だから猿社会ってのは根本的にだな
ところが…

…彼らは突然
笑いながら
襲ってきました
理由も
言わず
ただ黙って
彼だけを狙って

僕なんて
一撃くらって
アトは無視でした
きっと彼らに
したら僕なんて
殺す価値すら
なかったのでしょう

気付いたら
僕の横には…
横には…

モンタさん…
僕は彼のお墓を
つくったんです
もし
良かったら
みてもらえ
ませんか？

彼は根拠のない
自信とプライド
だけが肥大していて
しかもなお
カリスマに全く
恵まれていません
でした

彼が世の中に対して
怒り狂っても
誰も相手にする
はずもありません
でした

でも僕は
そんな彼が
好きだった
殴られても
罵られても
僕は彼は愛して
いたんだ……

おまえ
何かコメント
しろって!!
え!?
うわあぁぁあ
空気重いって

おっお互い
頑張ろー
ぜ!!
上出来
でしょう

……
それじゃあ
お世話に
なりました

マジで
群れに
帰んの？
ハイ
出戻り
ます

それこそ彼が
出戻ることは
出来ないですが
僕ならボスも
許してくれます
1～2回
マウンティング
されれば
バッチリです!!

それじゃあ
みなさんも
お元気で

あいつは
入れてやら
ねーのね
俺達の
群れに
パムッ
てゆーか
おまえも入れた
憶えはねーよ
おまえには
女房とガキが
待ってるじゃ
ねーか
おまえ
こそ早く
出戻れ
え？
あれ？
2匹とも
どーしたの？
僕達も
いこーよ

あなたの理念とは
一体何ですか!?

【第十二話】

ビッグな群れに
するためには
ギャルの存在が
必要不可欠である
――とゆうコトに
気付いたのは
昨日の晩だった

…………
うが～
やーめーて～

…なぁ
おら～
や～め～て～
ぐりぐり

超今さら
なんだけど
さぁ～～～

オレ達ってホント
ギャルっ気
なくない？
てゆーか
ねーよな？

そー
ゆわれりゃ
そーかもな
確かにね
だよね〜
だ…
だよね!?

でも僕は別に
今のままで
特別……
出たよ
出ましたよ
出ちゃったよ
けっ

そこの
ボクちゃんは
置いといて
もちろん
オヤジは…
俺も全然
気になんねー

群れに残して
きたとはいえ
俺が生涯愛するのは
妻のアケミのみ
だからな!!

………
とゆー
訳で
ガーン
む 無視
なのか!?

とゆー訳で…
群れにギャルを入れようと思う!!

女の子を俺達の群れに?
入れる!!
サッ

入れるとゆーからにはてめーが探してくるんだろうなあ?
もちろんでしょ?
ひそひそ
ピクッ
!!

それならさっきのふたり組でいーじゃねーか
え?
ロコツに指差すのはやめよーよ…
てゆーか3人で行けばいーじゃんよ…
やめろよ〜

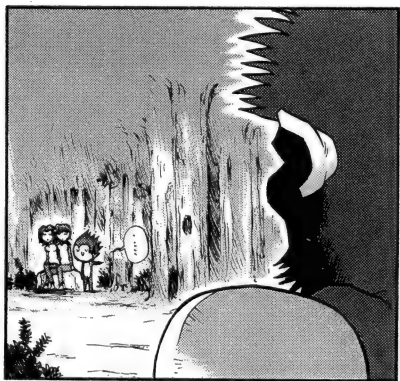
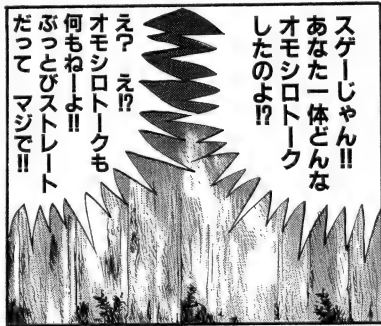
オラァ!!
ガタガタゆってんじゃねーよボケ
どんっ
キャッ!!

………

……

……

……
……

ダッ

オーゲーだって!!
え!?ウッソ!?

スゲーじゃん!!あなた一体どんなオモシロトークしたのよ!?
え? え!?オモシロトークも何もねーよ!!ぶっとびストレートだって マジで!!

マ…マジかよ…?
呼んでるから早く行かねーとさ……

ヤベ…乳首立ってきた…
バ…バッカ!!んなコトゆうとオレまでヤバイじゃねーかよォ

アイ
でーす

レイ
です…

だははははははははははは
マッジで〜〜〜〜〜!?

キミ達3歳なんだ!?若っ!!
おねいさま大好きっ!!
いえ
若いかな〜〜〜〜?

…ねえアイちゃんお腹すかない?
ちょっとすいた
え?腹へった!?

俺 木の実
取ってきて
あげる!!
だって
ボスだし!!
頼れる
わよー!!
ダッ

て…手に入れた!!
オレはとうとう
手に入れた!!
ダダダダダダダ

カワイイ
ギャルちゃんと
忠実な下僕!!
オレはついに
オレの群れを
手に入れた!!

オレは
今日の今
この瞬間から
ダメ猿な自分に
サヨナラして
ガンバって
ガンバるのだ!!
ホー
ホー

ホーホー

…………
ぺたっ

モゾモゾ

…………
すす
すす

ダメ猿な自分にサヨナラして…
ガンバって…
ガンバって
ガンバって…

プニッ

…………
プニッ

プニ
プニ
プニ
プニ

…………

こ…この女共
熟睡してやがる!!
オレ様を完全に
ナメてんな!?
群れから
出てきたばっかりの
田舎者の良い子ちゃんで
何も出来ねだろってか!?
ってか!?

うくん
ドキン
キャッ!!
ビクッ

……
しーん

もしかしてボク
超ビビってる?
心臓とか
バックンバックン
ゆってる?
バックンバックン

いや!!
オーゲーです!!
ゆってないよ!!
おまえは
野獣よ?
幸せな野獣よ!?

乳首ばっか
プニっても
意味ねー
だろ!?
男なら…
ボスなら
その上っしょ!?

でも
アクマでも
慎重にね…
そー

ブフッ
ビクッ

…起きてたの？

きっ貴様やる気だな!?ガツンとイク気だな!?
わっ!!なんだてめえ!?
出たよ!!親父気取りってか!?
ガバッ

………

…とまて
え？

イクなら俺もイクからちょっと待て…
……てゆーか…
………てゆーか？

てーかおまえはイケるのか!?
イッちゃうのか!?

アケミに対するおまえの愛はこの程度のソレでアレになってコレっちゃったりしちゃうペランペランで安っぽいものだったのか!? のか!?

んな事ゆって
あなたはホントに
イっちゃう勇気が
あるのかしらん？
ピクリッ

…あるに
決まってん
だろ？
何ゆってんの
あなた？

………
ないね…

あ…ある
よォ!!

いーや
ないね!!

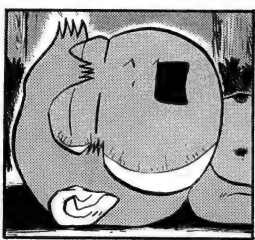
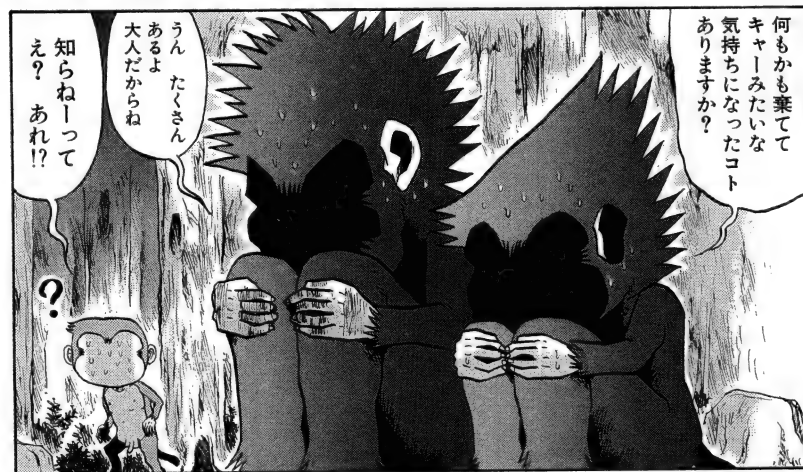
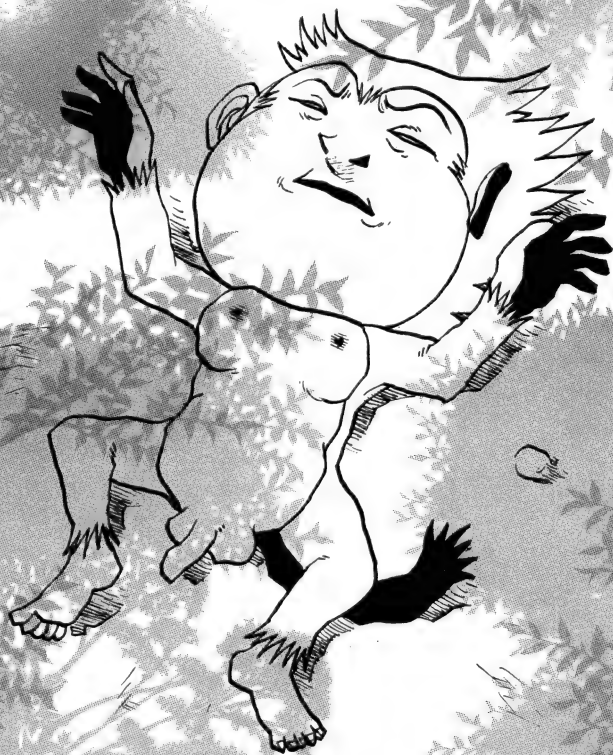
オレは
飛び出せる
よォ!?

いーや
無理だね!!

てゆー
か…
……

あ〜〜〜〜
おはよ〜
あれ？

ふたりとも
どうしたの？
元気ないよ？
てゆーか
女の子達
は？
知らねーよ
あんな女共…

何もかも棄てて
キャーみたいな
気持ちになったコト
ありますか？
うん　たくさん
あるよ
大人だからね
知らねーって
え？　あれ!?
？

【第十三話】

僕とモンタくんで
群れを飛び出して
途中で猿道(さるどう)の
おじさんが加わって
同じような風景が
続くけど
思えば僕達は
それなりに遠くへ
来たかもしれない

あ
木の実…

じゃ
ないや
何だろ
コレ？

？
ゴロゴロゴロゴロ

キャーーーッ!!
イヤーーーッ!!
ダダダダダ
ゴロゴロゴロゴロ

な!?
キャ〜〜
イヤ〜〜
ゴロゴロゴロ

ちょ…ちょっと
モンタくん達
何ソレ!?
キャ〜

ガッ

ギャッ!!
ギュルルルルル

ビクッ
あ!!
ガリガリガリ
ガリガリガリ

あ〜〜

コレは
何だろう?
何だろうって
どっから見ても
石じゃん?

どこから見ても
違うよ…
コレはドコで?
あ〜〜?
あっち…
……

何コレ?

変わった山だべ？
いや…だからこれはただの岩山では…

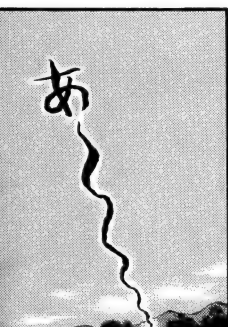
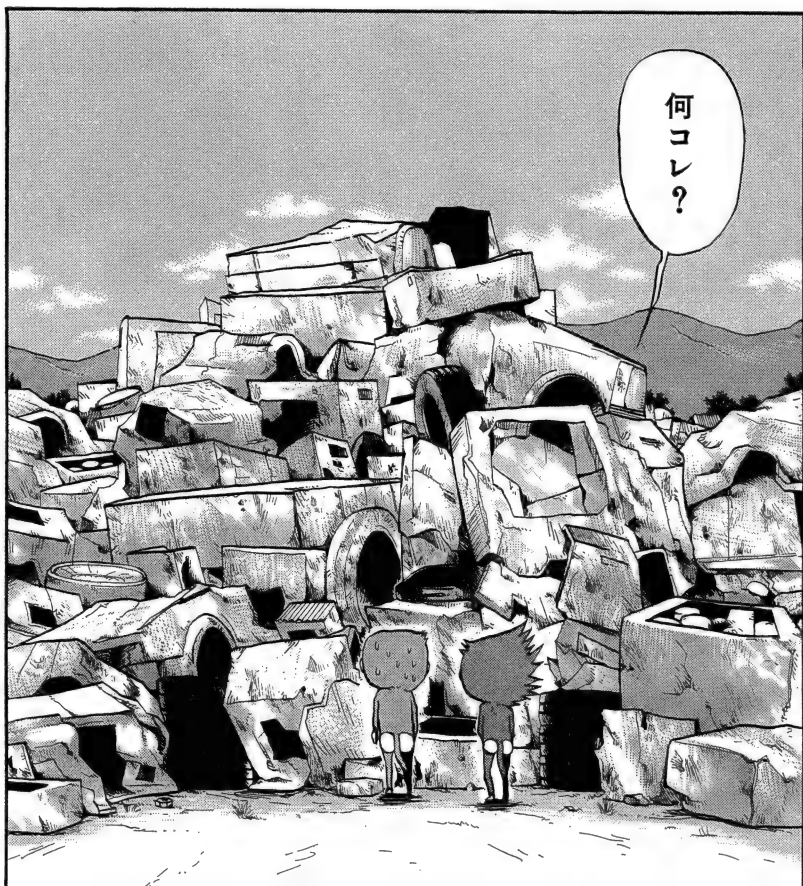
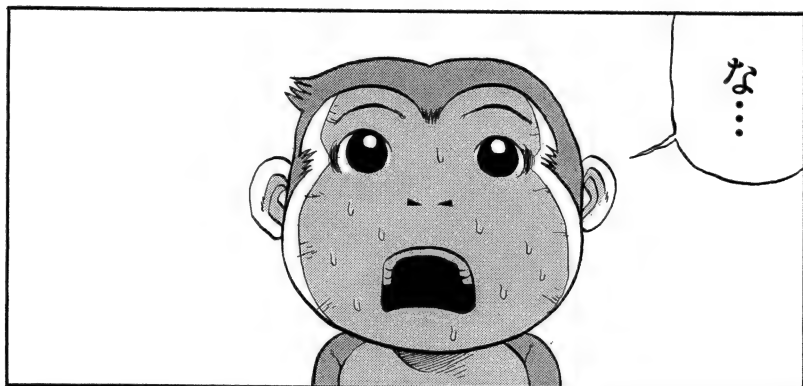
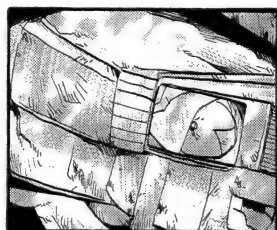
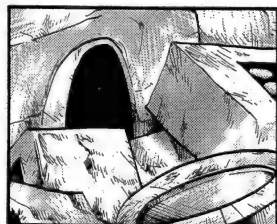
あ〜〜〜〜〜？岩じゃないならコレは何よ？
それは…

コレが何かは僕にも分からないケド…

でもコレがただの岩じゃないコトも確かだと思う
だってこんな変わった岩山見たコトないもの

こんな岩山で悪かったたな

ここはオレ達の棲み処だ
余所者はとっとと出てゆけ

あ……

気を悪くしたなら謝ります
全く見たコトもないアレだったので つい…
!!

……
……
じ～～っ

おまえ達…

ズ
ルッ

ズガガガガガガガ
あ!!

……
しーーん

……
スクッ
たっ…
立ったよ!!
何事もなかった
かのように
立ったよ!!
ビクッ

おまえ達
この辺りのモン
じゃねーな?
旅猿か?
てゆーか
大丈夫ですか?
バッカ!!
ケンちゃんてば
そゆコト
つっ込んだら
ダメじゃん!!

おまえ達は
ドコから
やってきた？

あ〜〜〜？
あっち…
あっちって
もうちょっと
詳しくさあ

イヤ…こっちも
何となく聞いた
だけだから…
え？
どーでもいいし
だ〜〜〜ぱ!!
こうゆうのは
何となくで
いいんだよ!!

………
それにしても
この辺りのコレは
一体何ですか？

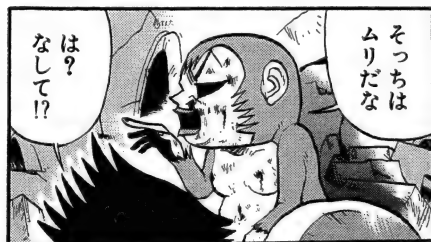
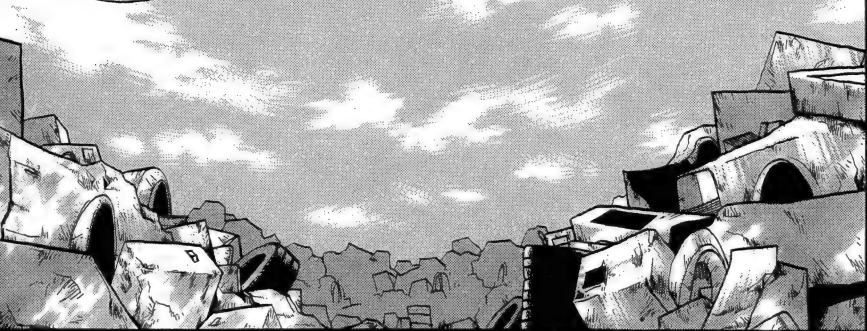
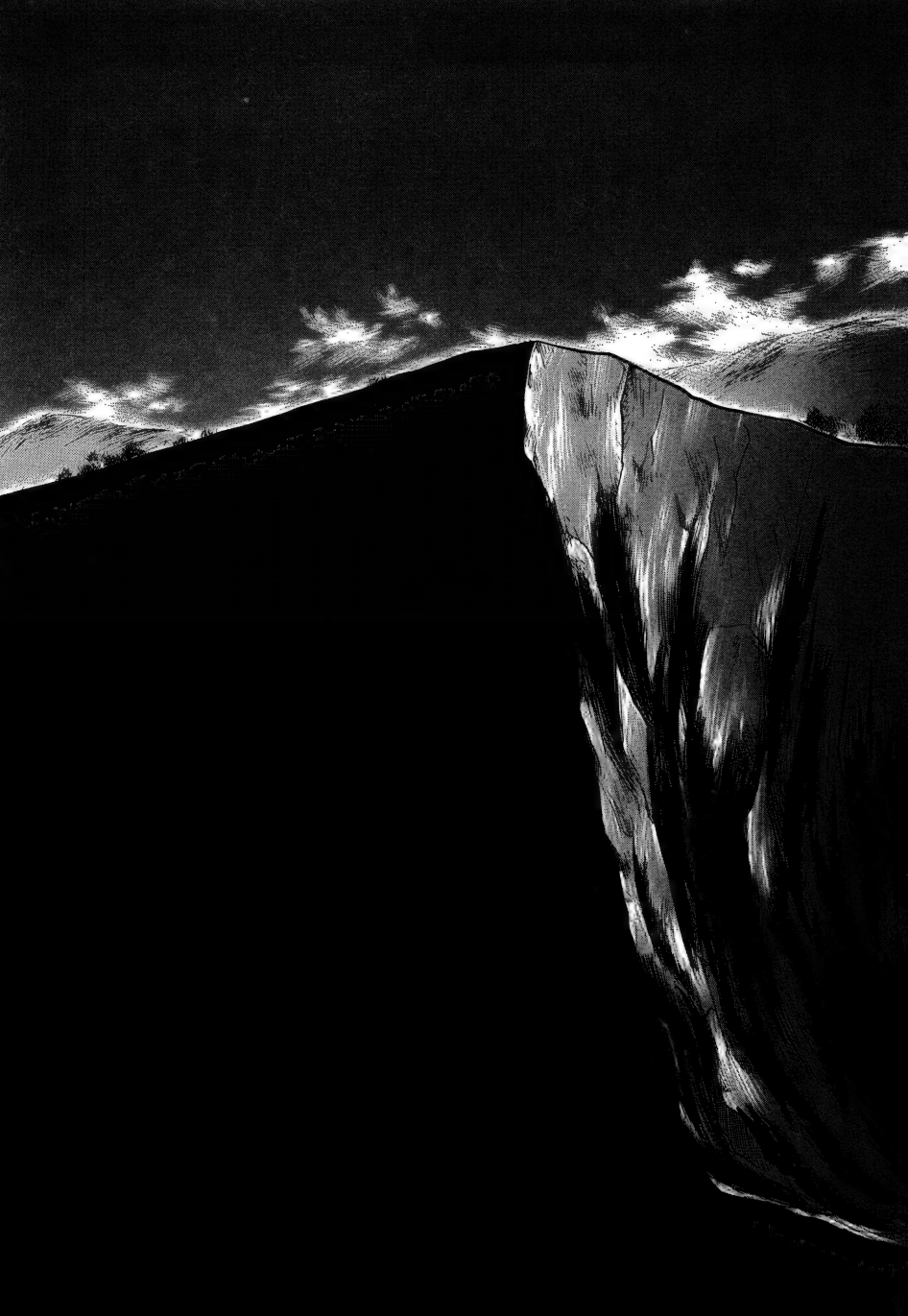
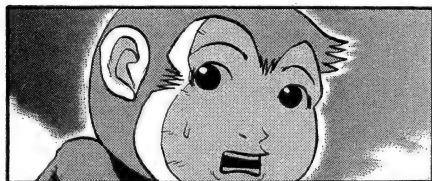
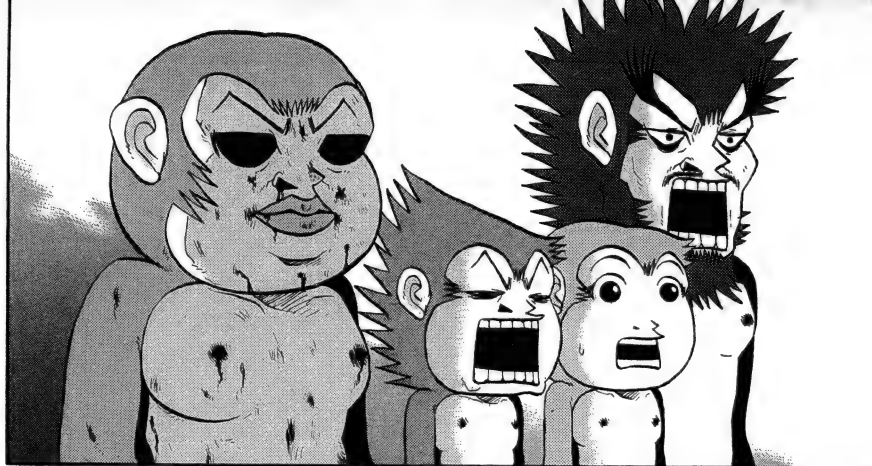
この塊が 何で
あるかは…
オレ達も
知らん!!

確かにこの辺りは
全てがこんな感じで
木の実を探すのも
少々手間がかかるが

穴に入れば
雨風を防ぐコトも
可能であるし
オレ達はココを
ねぐらにしている

な…何なの
コレ？
地面が
終わってる
の？ !?

ホラ オヤジ
落ちるなよ!!
サッ
ガッ
あぁん!!

…………
キャー
オマー

見てのとおり
ココから先は
ゆきどまり
世界の終わりだ
そしてオレ達は
何となくココに
ゆきどまって
暮らしている
ただ さっきも
ゆったが
オレ達は
この場所が嫌いな
訳ではない
うわ〜
ボカ
ボカ
バタ
バタ
キャ〜〜
むしろ不思議と
心が落ちつくので
気に入ってる
くらいだ…
やめて〜〜
心が落ちつく
………
そうだ
不思議
とな…

建設予定地

悪いね
またまた
こんな所まで
送って
もらって
気に
するな

ところで
おまえ達は
ココからどっちへ
ゆくつもりだ?
あ〜〜〜?
あっち…は
昨日のアレ
だから…

そっち…
かな?
くるり

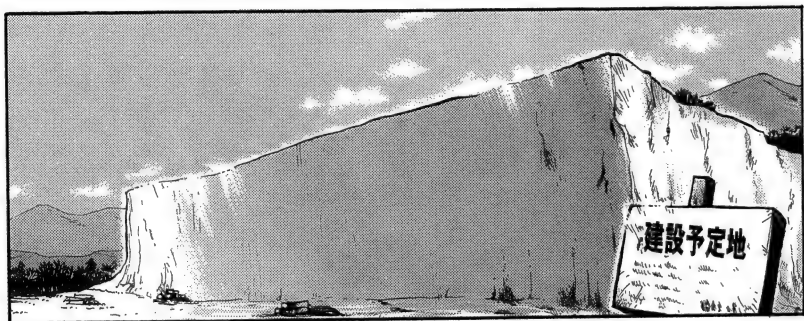
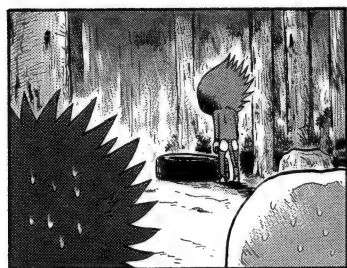
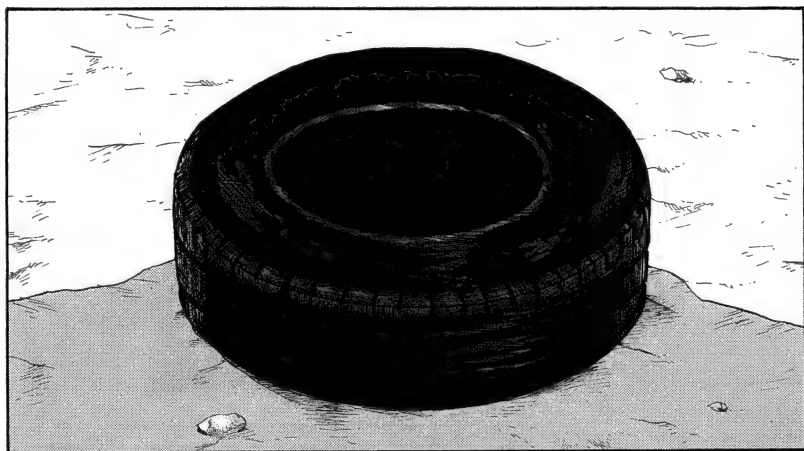
いや
こっちに
しておけ
くいっ
は?
なして!?

いや
何となくだ

なるほど

んじゃ
そっちに
行ってみっか?
ああ
そうしとけ

それでは
お元気で!!
いえ～

あの野郎
超テキトー
コキやがって!!
ムキ
ダッ
これって
やっぱり
元いた場所
の…
だろうね…
多分…
いや確実に…

【第十四話】

今年もまた
僕達旅猿にとって
もっとも厳しい
・・・
サムイの季節が
やってきた
ちなみに今年は
まだシロイには
なってないけど
最近は本当に
寒かったりだ

ホラ これが
ケンジの分
うん

んでコレが
おまえの
な…投げ
捨てるな!!
コロン

最後に
コレが
オレと…
ほ…ほら!!
どっかいった
じゃねーか!!

カリカリ

ボリボリ
……
カリカリ

ねえねえモンタくんあなたソレ食べないの？
おじさんが食べてあげようか？
ほんとらめずらひいね…

くくく…これだから後先考えない奴らは…
後先？
くちゃくちゃ

今朝のこの肌を刺す感じ…明日からはきっと本格的なサムイがやってくるぜ？
ただでさえ中々にアレな木の実がさらに見つからなくなるだろうよ

そこでオレは思った訳だこれからは木の実を食べるのも考えて
ガサッ

節約してだな……

な…ないッ!!
オレの木の実が
ないッ!!
ウッソ!?
え!?
ぐが!!
ま…
待てコラ――ッ!!
ダッ
モンタくん!!
うおぅらぅ
待てコラ～
ダダ
ダダダダ

え⁉
バッ
あ…
オロオロ
あれ⁉
な…
何となく
こっちか⁉
待て
こら～～
ポリ
ポリ
あの野郎
遅せえなあ
カリカリ
ガサッ

意外と
まくのに
手間取ったぜ
お疲れ

しかし
あのバカ面
今何してっかな?
あ〜疲れた
泣いてんじゃねーの?

うらァ〜
ピクッ

え?

あ…あいつじゃん!!
ウッソ!?
マッジ!?
うらァ〜

うらァ〜
逃げろ!!
お…おう!!

絶対逃がさねえ!!
地獄の底まで
追っかけるぜ!!
それは
オレの木の実だ!!

だら〜

何なんだ
こいつは!?
振り向くな!!

振り向いたら
オレ達の
負けだ!!
ら〜

うら〜
ダダダダ

………
ぜえぜえ

今回は
狙った相手が
ちょいヤバ
だったか?
まあ…
今度こそ
大丈夫っしょ?
キモイよ
あいつ…
待てコラ〜

激ムカック!!
ムキ―――ッ!!

い…いや ホント ヒドイよね
バッカ!! オレは奴らに ムカついてんじゃ ねえ!!
ぐぉ〜

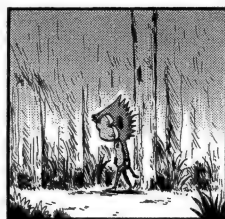
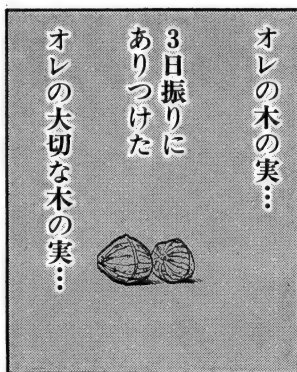
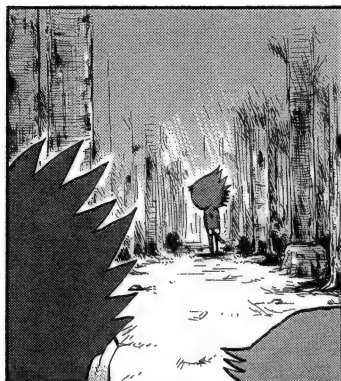
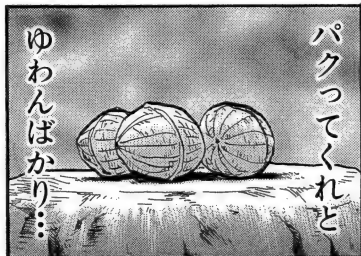
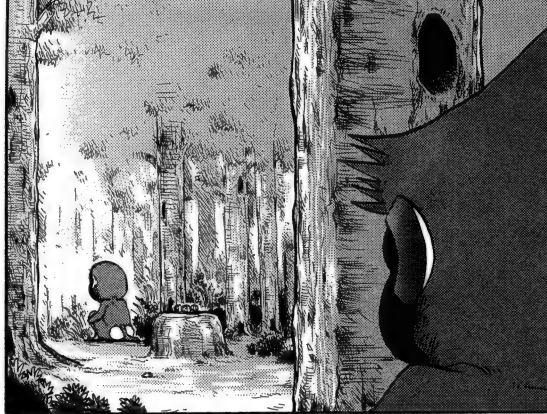
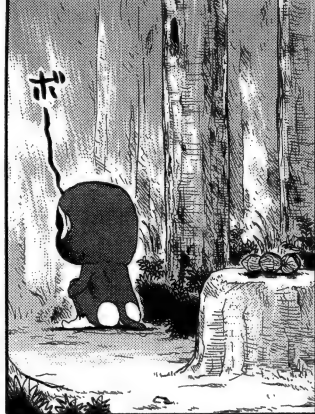
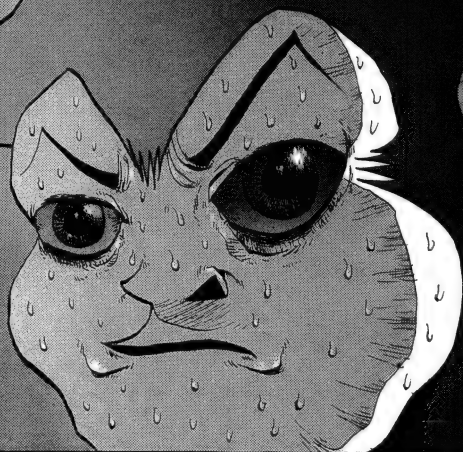
オレはみすみす 木の実をパクられ まんまとまかれた オレに腹が立つ のだ!!
この厳しい 自然界において 悪いのは 奴らじゃねえ!! そう ゆうなれば…

悪なのは オレだ!!
俺なのだ〜

そ…そう かな?
そうだ!! 俺が悪なのだ!! 腐った木の実 なのだ!!

モ…
モンタくん
ドコに？
少しひとりに
してくれよ
ぐぅぅぅぅ
オレの木の実…
3日振りに
ありつけた
オレの大切な木の実…
みすみすパクられて
まんまと
まかれちゃって…
ダダダ
く〜〜〜〜〜!!
何て不用心な
オレ!!
何故
もっとあの時
しっかりと…
んあ？

ボーー
何してんだ
あのサルは?
ボーッと
しやがって…
あれじゃあ
木の実をパクって
くださいと
ゆわんばかり
じゃねーか…
…………
…………
ぐうううぅぅぅ
パクってくれと
ゆわんばかり…

パ○○○○○○

パクるか!?

この厳しい世の中…
何だってパクったり
パクられたり…
そう…

ゆうなれば
パクられたほうが
あ…
悪なのだ…

!!
ダッ
ピクッ

みんな出たぞ!!
木の実泥棒だ!!

出やがったな!?

あっちだよ!!

待て
オラァ!!
ダダダダダダダ

ハァ
ハァ

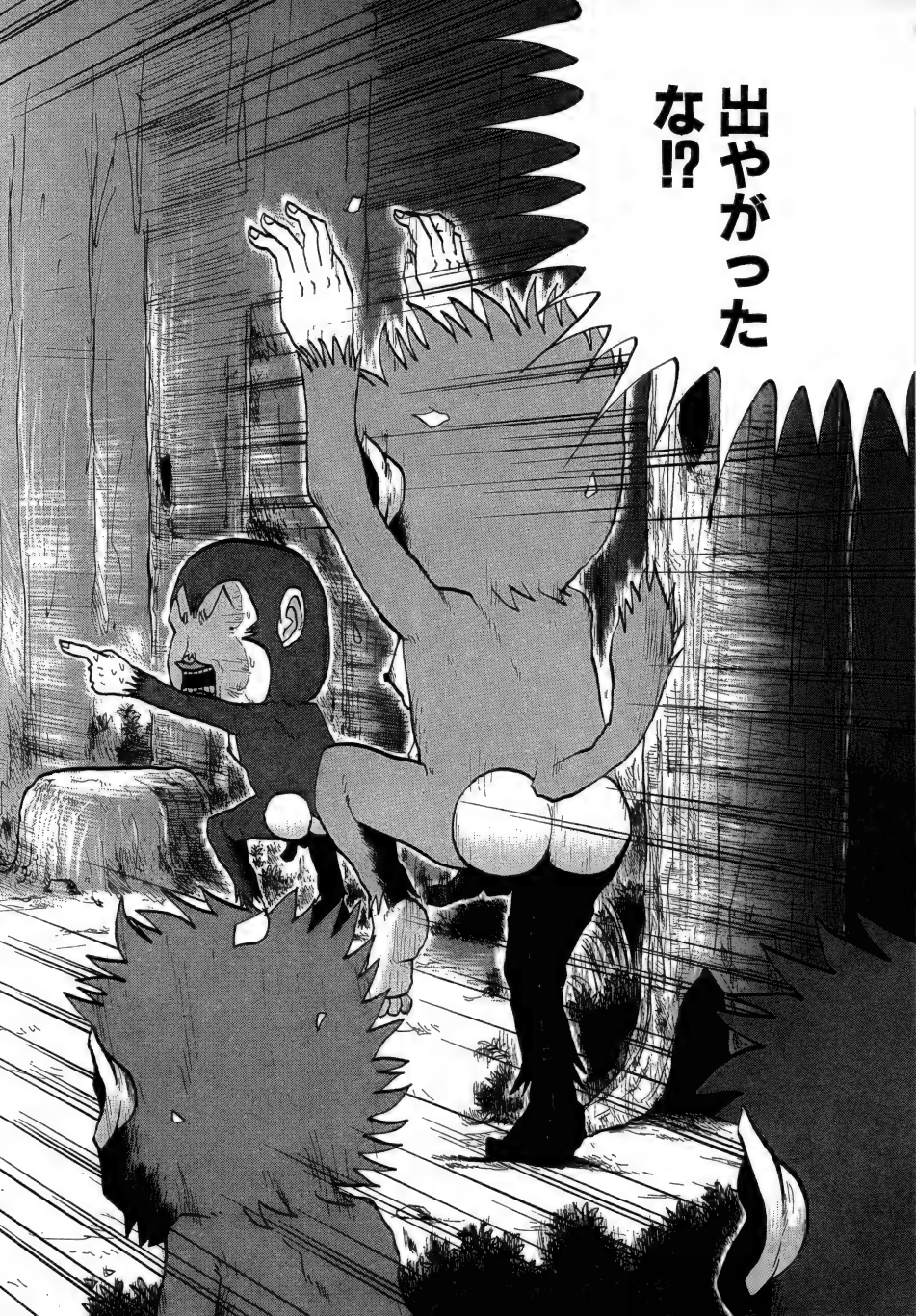
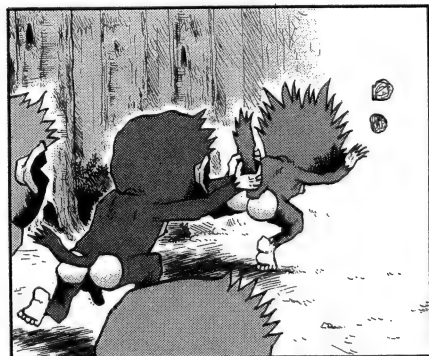
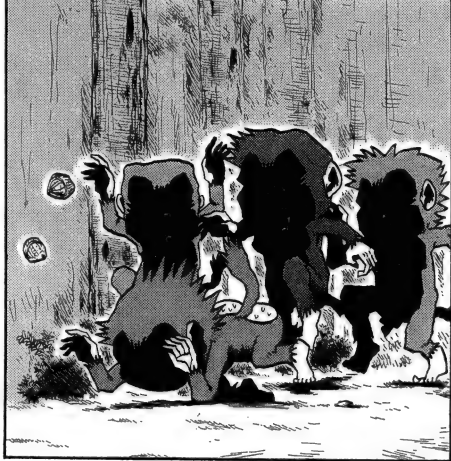
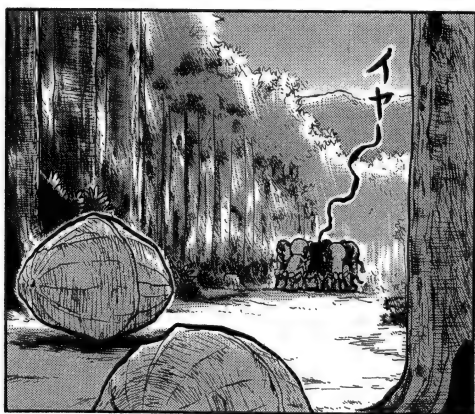
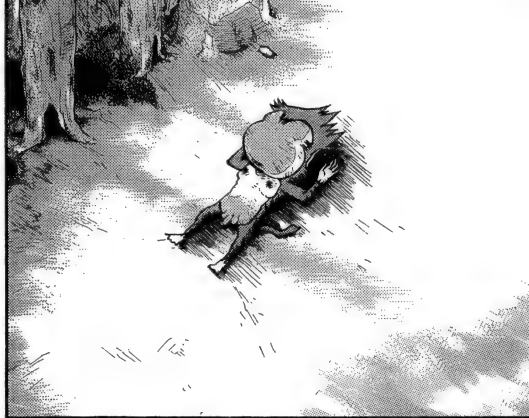
オレ何やってんの?
自分の木の実は
パクられて
他人のソレは
パクっちゃって
オレはただ
これからの季節
木の実だって
よく考えて
大事に食べなきゃ
とか思ったり…
待て
オラ
ぶっ殺す

こいつ
食おうと
してるぜ!!
あ!!
絶対食わす
な!!

せ…せめて
ボコボコにされても
この木の実
だけは…

木の実…

オレの木の実…

モンタくぅ〜〜ん〜
ピクッ
ああモンタくん!!
・・・シロイだ……
それは今年最初の・・・シロイ

【第十五話】

今年最初のシロイはそのまま降り続いて山はマッシロイ・・・・・・
木の実や食糧が極端に減ってしまう僕たち山の動物にとって厳しく辛い季節だ

お…お前達歩くの早いってマジで!!
ぜぇぜぇ
がくがく
聞いてる?ね…ねえ聞いてる?

おじさんがついてきてないよ
あーほっときゃいーんだって
うぉ～～い

ったくこれだからガキは…
さくっ
・・・シロイごときでキャッキャッはしゃぎやがって

置いてくぞオラ～～
!!

こちとら寒いのか暑いのか分からねーっつーの!!
ぜぇぜぇ
てゆーか腹へって死にそうだぜ…

き…木の実!!
木の実だ!!
ダッ

ああ!!
ダッ

グワッ

ウッソ…
がっくり

何やってんだあのバカ…
アホが
あの様子じゃ当分立ち上がれそうにないよ…

あ?

な…何コイツ!?
感じわるッ!!
メチャメチャ不吉な感じ!?
バ
ビュン
ビュン

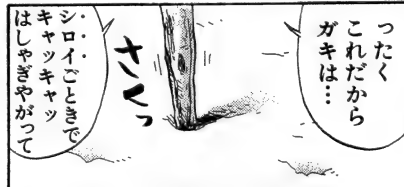
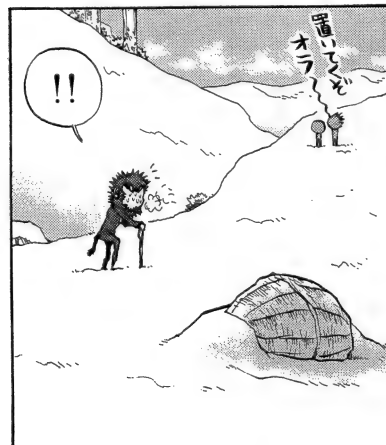
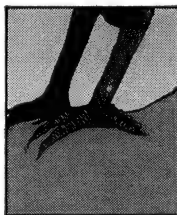
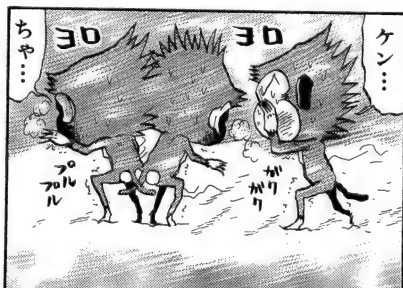
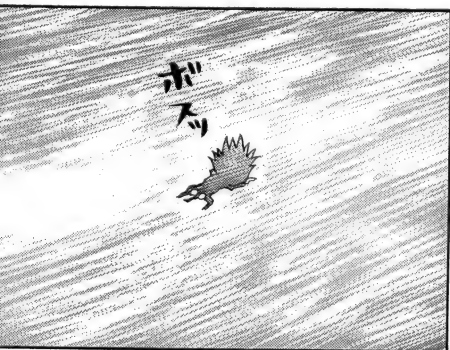
ゴォオオオオ

と…突然
激寒いよッ!!
吹いてるよッ!!
ヤ…ヤバイ
ってマジ
で!!
おじさん
ボク達から
離れないで!!
見えないの!!
マッシロで
何も見えない
の――!!
ゴォオオオ
ど～なってるのォ～

ピクッ
タくうぅ～ん～

モ…
モンタ
くんッ!!
ケンちゃ～～ん～
ゴォオオ

ケ…ケン
ちゃん!?
ハッ
ケンちゃ
ーん!!
ゴォオオオオオオオ

ケンジーーッ!!
モンタくーーんッ!!
ゴォオオオオオオオオ
ケ…ケンジ…
ヨロッ
ケンちゃん…
ボスッ
ケン…
ヨロ
ヨロ
ちゃ…
がくがく
プルプル
ゴォオオオオオ

なっ…

何コレ!?
ちんぽの先!?

…じゃなくて長老ってか!?
何よ? どーしたのよ!? 超久しぶりじゃん!!

この世の全てのもの…ゆうなればわしやおまえも…
この世の全てのものは分母と分子とゆうもので出来ておる

んなコト知らねーよ…てゆーかこれは前もゆったけどぶんぼとかぶんしってのがおりゃあすでにイミ不明なんだよ…
分母がブルーで分子がハッピー

だーかーら〰〰ぶんぼとかぶんしの時点でイミ分からねーっつーの…
てゆーか今はそれどころじゃねーよマジで…おりゃあ凍えて死にそうなんだよ…

凍えて…
凍えちゃって…

むくり

身も心も…

ケ…ケンちゃん？
オヤジ？

モ――ンタくーーん!!
お〜い〜
モ〜ンタく〜ん
お〜い〜
モンタく〜ん
モンタく〜ん
シロイが止んで助かったけど…
モンタくん…大丈夫かな…?
……
モ〜ンタく〜ん

ケンジよッ!!
ぎゅう
わ!?
ドキッ

あ…あの吹ぶきじゃん？
さすがのモンタくんも
アレじゃあダメだよ
絶対アウトだよ…
オレとキミが
こうしてセーフ
だったのがむしろ
奇跡だった訳で…

そ…そんで
これから
どーしよーと
思った訳で…
で結局は
とりあえずは
6歳と3か月
年上のこの
オレが……
あ…あの…

オレ様が今日の今
この瞬間から
キミのボスとなり
そして盾に
なってやる!!
ガッ
え!?

オレはやる
のだ〜〜
モンタ
くん…

ケンジ…
オヤジ…
ぜぇ
ぜぇ
おまえ達は
一体どこで何を
してるんだ!?
!!
き…
木の実!!
ダッ
木の実
だ!!
グワッ
ああ!!
ダッ
ウッソ…
がっくり

!?
ア～
ア
ア～
ま…またしても
おまえ達か!!
不吉なんだよ!!
オラァ
ア
ア～
や～め～て～!!
イヤ～
ア
ア
ア
あ…

………
サッ

ア～
ア～
こ…
こいつら…

こいつら
オレが力尽きて
ぶっ倒れるのを
待ってやがる!!
こいつらだけじゃ
ねえ!!
この山のこの森の
全ての野郎が
オレがくたばるのを
じっと息を殺して
待ってやがるのだ!!

あ…
明日くたばる
のは…

誰だ!?
おまえか!?

サクッ
……
モンタよ…
モンタよ…
真冬にどーしても
腹がへって困った時は
木の実etcを貯め込んで
ぐーぐー寝ている
きゃつらの穴にゆくのじゃ!!
……きゃつらはサムイの間はずっと
眠りに眠り倒しておるくせに
ポカポカ陽気になると
またノコノコ山に現れおる…
眠って起きたらポカポカ陽気で
そんなんワシは許せん!!
いや許さん!!
その当時は
何怒ってんの長老(このバカ)?
とか思ったが オレも
今は分かる…
それは許せん!!
てゆーか それこそ
いちさるとして
許さん!!
そ～～っ
!?
モサッ
……
ヒクヒクッ

あ……

ああ〜〜〜〜ッ!!
あーーッ!!

モンタくん!!
ダッ

ケ…ケンちゃん…
プルプル
…めて
え? 何!?

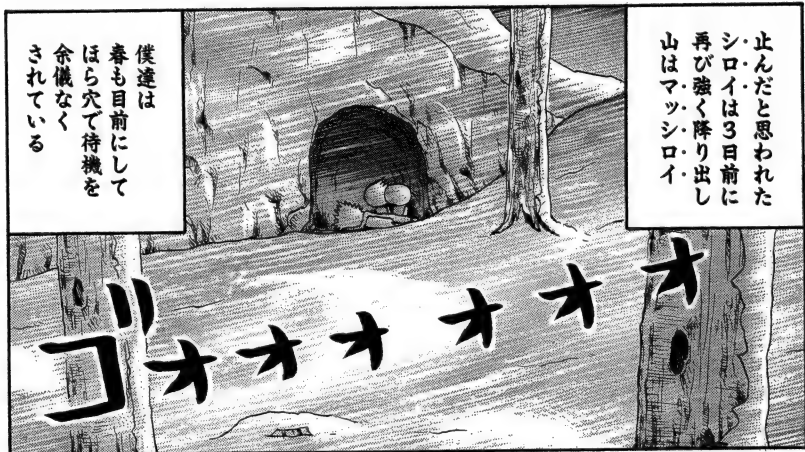
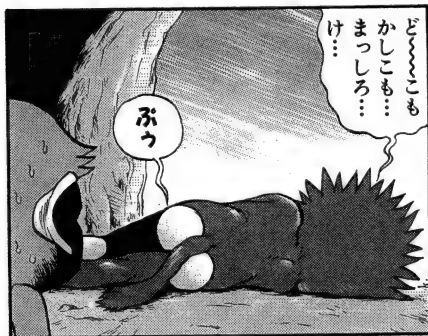
抱きしめて……
何も聞かないでただひたすらぎゅ〜〜〜って

こ…こんな感じ?
うんそんな感じ…
ぎゅううううう

【第十六話】

止んだと思われたシロイ・・・は3日前に再び強く降り出し山はマッシロイ・・・・・
僕達は春も目前にしてほら穴で待機を余儀なくされている
ゴォォォォォォォォ

まっしろけ〜〜〜〜♪
まっしろけ〜〜〜〜〜♪
ゴォォォォォォォ

ど〜〜〜こもかしこも・・・まっしろ・・・け・・・
ぷぅ

いや・・・しかし明日になれば・・・
朝がくれば・・・・・・
カリ
カリ

きっとポカポカいい天気
苦しいことなんか忘れられる・・・
ゴォォォォォォ

昨日もそう思った?
思ったー〜〜
うん!!思った!!
ガバッ

いえい!!
俺も思ったー——!!

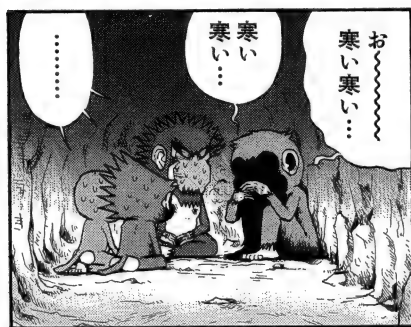
まっちろけ〜〜〜〜♪
カラカラ
アハハハ!!バカだバカだ!!
………

ふたりとも妙なハイテンションで怖いよ…
でもホント春も間近なハズなのに…
ギャハハ

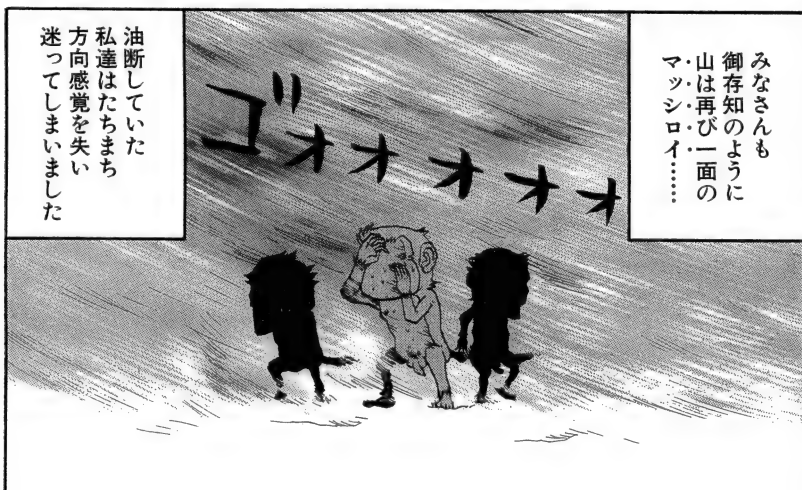
ゴォォォォォ
この吹雪はいつまで続くんだろう?

ゴォォォォォォォォ
ん?

お〜〜〜〜寒い寒い…
ガタガタ
私も隅っこのほうでちょっと休ませてもらっていいですか？

わ…私が…
私達が…

木の実を探すため
妻や子を群れに
残し 旅立ったのが
ちょうど三日前…

私達はこの時
まさか再び
シロイが吹くとは
夢にも思って
いませんでした

しかし
………

みなさんも
御存知のように
山は再び一面の
マッシロイ……
ゴォォォォォ
油断していた
私達はたちまち
方向感覚を失い
迷ってしまいました

そして
気が付くと
仲間とも
はぐれていて…
モ…モンタ
くん!!
ウッ!?
ビクッ

マッシロイの山を
3日間さまよい
歩いて…
そして今
こうして
みなさんの前に
いるとゆう訳です
ボ〜

しかし さすがに
明日になれば
きっと…
明日!!
明日!?
バッ

あ…明日が
何か?
い…いや
何でもない
んです
気にしないで
明日〜

……

僕は
きっと明日には
このシロイも
止むと思います
いや絶対
止みますよ
ゴオオオオオオ

そうですね…しかし…それにしても寒いなァ…
お〜〜〜〜寒い寒い……

寒い寒い………
いや〜〜〜〜ホント寒い…

ゴオオオオオ

お〜〜〜〜〜
………

寒い寒い………
いやマジで寒い寒いってうるせーよあいつ!!
そ…そうだけど僕にゆわれても………
か〜

寒い寒い…………

お〜〜〜〜〜……

オヤジ!!
モンタくん!!
ポ…ポカポカだよッ!!
明日が来たよッ!!
うぉ――――ッ!!
は…春の日差しってこんなに暖かいモノだったのね…
…………
イエ〜〜
お…おじさん春だよ吹雪が止んだよ
おじさんてば…
モンタくん!!
オヤジ!!
うわ〜い

…………
え!?
ズルッ

お…おじさん!?
は…春が………

!!
ビクッ

お…おじ…
オラァ
ギャッ!!
ビュッ

いつまでも
泣いてないで
早く来いよォ
しょーが
ないだろォ？
なぁ？
う…
うん…
そーだよ
そーだよ…
ホ…ホラ
ちゃんと埋めて
やったんだしさ
そーだよ
そーだよ…

泣くな!!
ケンジ!!
泣くなって
ゆったら
泣くな!!

お…おまえ
そんなことで
この厳しい世の中
生きてゆけると
思ってるのか!?
いーや
無理っしょ!!
絶対
死ぬっしょ!!
オラ

てゆーか
くたばったのが
おまえじゃなくて
奴だったことを
感謝しろ!!
喜べ!!
ケンジ!!
……

僕が助かった
ことは…それは
うれしいけど
でも…
僕は
喜ぶなんて
出来ないよ…
ぜぇ
ぜぇ

……
じゃあ こう
考えろ

オレ様が生きている
ことを喜べ!!
んでオレ様が
くたばったら泣け!!

あ?

ボーズ
こんなトコで
何やってんだ!?
野犬に喰われっぞ!!
おとーさんを
待ってるの!!

ボクや
おかーさんの
ために
木の実を
探しにいった
おとーさん達を
待ってるの!!

もーすぐ
帰ってくるの!!

モ…モンタくん
まさか…
………
てく
てく

おまえも
オレが…だ時は
教えてほしい
だろ？
え…

知らねーで
いいコトなんて
ねーだろ…

？

ボーズ…
な…何？

おまえの…
おまえの
親父は……

あ
え？

おとーさん!!
ダッ

ちちち…違ったのね!!違うサルなのねなアんだ!!
ホッ

ホ…ホッとしたトコロでオレ達もそろそろ行こうぜ!!
新たな山も間近なんだしよ!! いえい!!

な?
ポン

しーん
お〜〜〜い…

な…何やって
んだよ
おまえ達…
ホラ
行くぞ

な…何よ!?
おまえ まさか
また…!!
プル
プル

ダメだよォ
モンタくん…
やっぱり
我慢出来ない
よォ…

だ…だから
泣くなって
〜〜〜〜!!
泣くなよォ!!
春なん
だから!!
うわ〜〜ん
春なの
にイ〜〜〜

【最終話】

2年後

どうした
ケンジ？
おまえまで
来たら
ダメじゃんよ
オヤジは？
てゆーか
とりあえず
コレを早く
持っていって
やんな
オレは
もう少し探し
てっから
それが…
おじさんが…
おじさんが…
どーしても今すぐ
モンタくんを呼べって
ハァ
ハァ

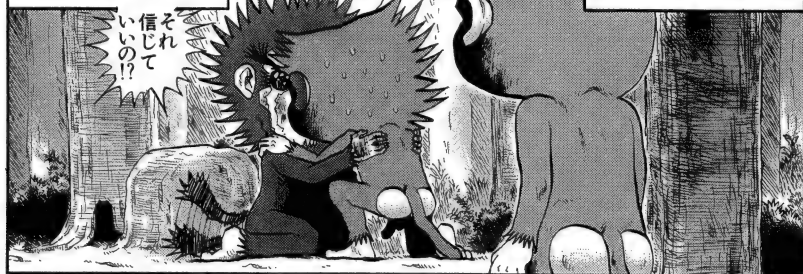
猿道というは…
死ぬことと見つけたり…

ふたつふたつの場にて…

モ…モモモモンタくん!!
ガッ

ドコ行ってたの!?何してたの!?
ゔぉ～
木の実を探してたんだってホラ！木の実!!

僕達は――

僕達は何ものにもとらわれない勝手自由気ままな旅猿だ――
ドコにも行きゃあしねえよ
1歳の時に群れを飛び出した僕とモンタくんも今年の春で4歳に
それ信じていいの!?

底抜けの体力が自慢の種だったおじさんは

今思えは一昨年の・・・シロイあたりから徐々に その体力に陰りを見せ始め
ぜぇ
ぜぇ
ガク
ガク

最近はもう歩くことさえ容易ではない

10歳
おじさんは今年で10歳になるのだ…

なあ
おまえ達
あん？

俺が今朝ひとり目覚めて気付いたことを話そう…
何よ？ チンポ朝勃たなかったってか!?

んなモノは当の昔から勃ってねえ…
もっと大事なことだ…
んだよ？ 聞いてやっから早く話せって

俺は今日の朝
ひとり目覚めて
そして思った
いや確信した

「あ」
「俺は今度眠ったらもう2度と目覚めることはねーな」ってな

え!?

そして
俺は今
モーレッに
眠い…
こくり
こくり
ちょっ…
ちょっと
冗談は嫌だよ
おじさん!!

モンタくんも
何かゆって…
!!
………

トロン
トロン
なのか!?

超トロン
トロンだ!!

「猿道というは
死ぬことと
見つけたり」

「ふたつふたつの
場にて
早く死ぬほうに
片付く
ばかりなり」

俺は今でも
死ぬのは超怖え…
最悪チンポとか
勃たんでも我慢するし
100年とか生きてえ…

あ…でも
チンポが勃たねえのに
ダラダラ生きてても
アレなんでここらが
やっぱ潮時なのか!?

サルチンポ!!
サルマンコ!!

あ？
おまえ誰？
!?
くるり

お…おじさん
僕だよ
ケンジだよ
見たコトも
ねえ～～
知らん!!
おめーみてーな
チンポは知らん!!

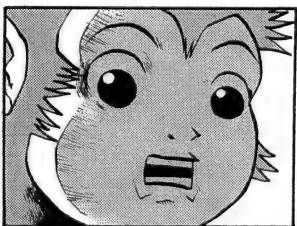
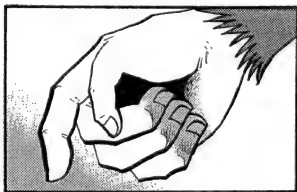
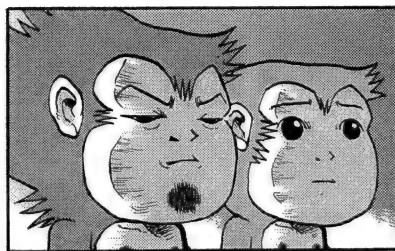
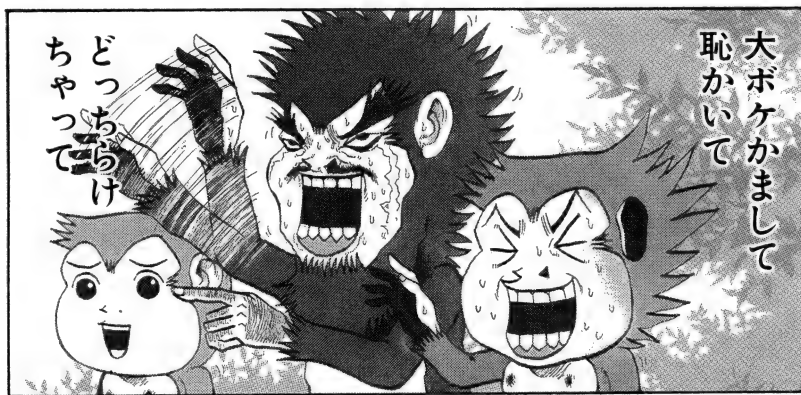
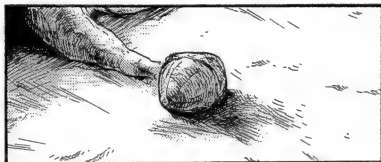
………

ガバッ
お…おじ
さん!!

あ…

昔はさあ……
昔は…

オレが左耳を失ってまで得たもの…

そりゃあ何だ?

いつだって
腹はグーグー
ゆうてるし…
女なんて
ここ1年
会話すら
してねえし…
はっきりゆって
いいことなんて
これっぽっちも
ねえなあ…
大ボケかまして
恥かいて
どっちらけ
ちゃって

僕達の住む
この世界では
いつでも
旅に出る理由が
あって

誰もがみんな
手をふっては
別れたり
出会ったり

それでも
また僕達は
手をふって
歩き出すのだ

サルぽんち／完

あとがき

この漫画は月刊コミックビームにて、一九九九年の暮れから二〇〇一年の春にかけて連載されたもので約六年前の作品であり、自身初の連載作でもありました。
(要は随分前に描いたもので、いまみるとちょっと恥ずかしい・・・と言いたい訳です。)

担当編集である奥村編集長には「ちくしょうめ!なんかドカーンと恩返しできねえかなぁ!」といつも念仏のように思っています。鉄砲玉が必要な時は是非オレに言ってください。
そしてコミックビーム創刊十周年(二〇〇五年の一二月号にて)、本当におめでとうございます。

あと、ごくまれに「サルぽんちの単行本は出ないんですか?」というようなメールをいただくことがあって「あー、そんなひともいてくれるんだなぁ」と密かに感謝していたのですがこの度晴れて単行本となりました。
是非とも買ってやってください。買い占めてください。
同時発売の無頼侍(壱)もいっしょに買っていただけたら、泣いて喜ぶことでしょう。

以上です。ありがとうございました。

平成十七年十月

熊木マサカズ

初出：月刊コミックビーム1999年12月号～2001年4月号まで掲載

BEAM COMIX

サルぽんち

2005年12月6日初版初刷発行

著者　鈴木マサカズ

編集長・担当　奥村勝彦

発行人　浜村弘一

編集人　青柳昌行

編集　株式会社エンターブレイン
コミック編集部
〒102-8431 東京都千代田区三番町６－１
TEL.0570－060－555(代表)

営業　上野宏樹

装丁　セキネシンイチ制作室

発行所　株式会社エンターブレイン

印刷所　大日本印刷株式会社
Printed in japan

◎本書の内容・不良交換についてのお問い合わせ
エンターブレイン カスタマーサポート **0570－060－555**
（受付時間 土日祝日を除く12:00～17:00）
メールアドレス：**support@ml.enterbrain.co.jp**

ISBN4-7577-2449-7

ISBN4-7577-2449-7

C0979 ¥680E

定価 本体 **680**円＋税

エンターブレイン

群れを飛び出し
さすらうチビザル二匹
笑い 涙 怒り……
様々な出会いと別れが
二匹を待つ!!